



Migration Manager
for Active Directory
(MMAD)

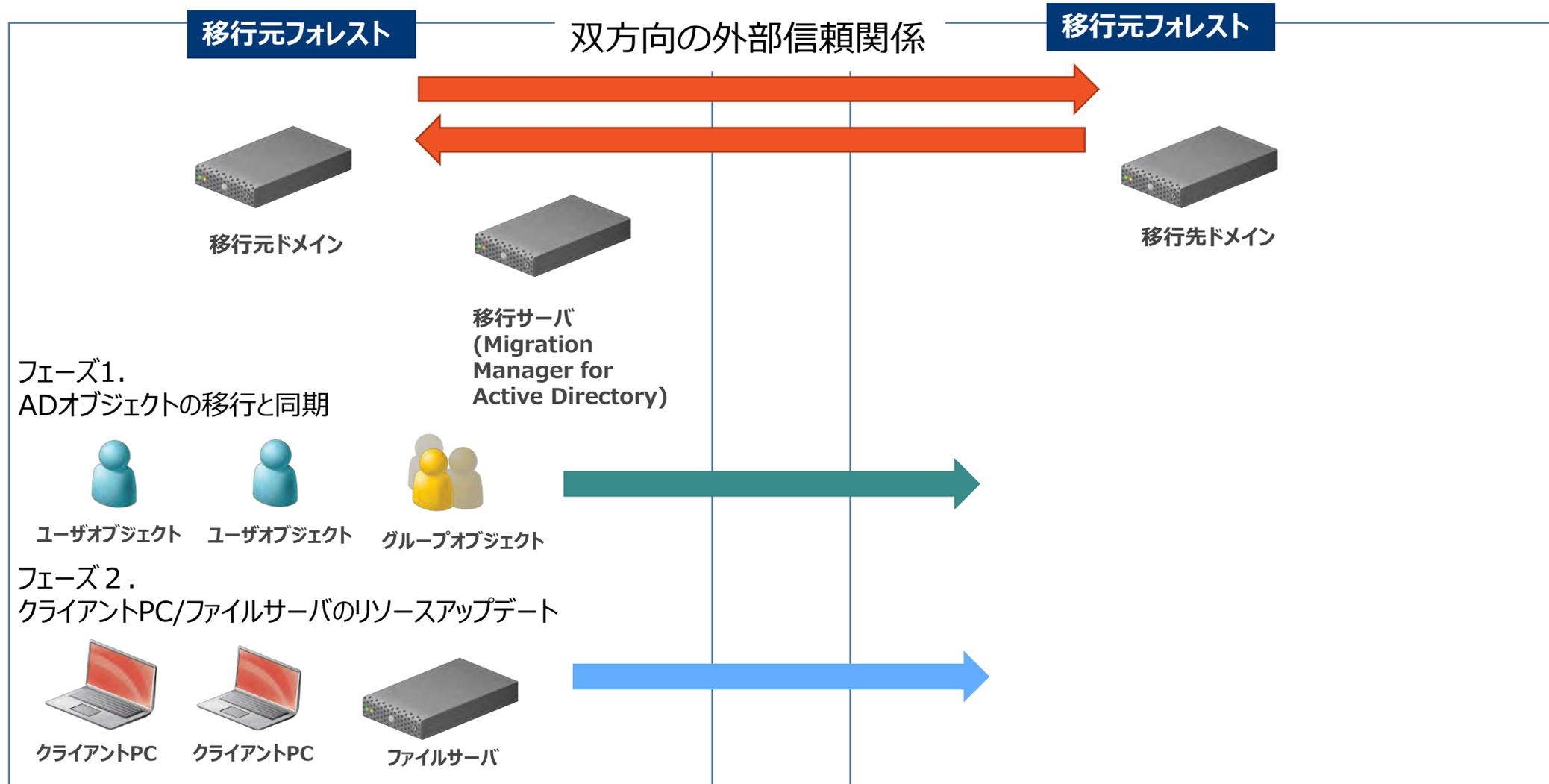
評価版
クイック・インストールガイド

Platform Management



事前準備

移行環境のイメージ



Migration Manager for Active Directory(MMAD) をインストールする前の事前設定について

- 移行元ドメインと移行先ドメインにおいて、双方向の外部信頼を設定します。
最低でも片方向（移行元から移行先）の信頼関係が必要となります。
- 移行元と移行先のDNSに条件付きフォワーダーを追加
- 移行元へ接続するアカウントと移行先に接続するアカウントを準備します。
これらのアカウントにDomain Adminsの権限を追加します。
- 移行サーバ(MMAD)にOSの最新バージョンのパッチを更新および移行元または移行先ドメインとして参加します。
- MMADをインストールするアカウントは、ローカルのAdministratorと移行元または移行先のドメインDomain Adminsの権限を付与する必要があります。
- MMADをインストールするアカウントで、AD LDSのインストールおよびインスタンスを作成します。
- 移行元ドメインおよび移行先ドメインにおいて、SID フィルターの無効化
SIDフィルタの無効化も両方向に設定します。

例：

```
Netdom trust TrustingDomainName /domain:TrustedDomainName /quarantine:No  
/usero:domainadministratorAcct /passwordo:domainadminpwd
```

- 移行元ドメイン、移行先ドメイン、移行サーバ、クライアントPCのOSにおいて、ファイアウォールを無効化（検証用）

権限の設定およびインストールについては、下記のマニュアルをご参照下さい。

Migration Manager 8.15 – System Requirements and Access Rights

<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/preparing-migration/8.15/system-requirements-and-access-rights>

Preparing Migration 8.15 – Installation Guide

<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/preparing-migration/8.15/installation-guide>

MMADをインストールする前の事前設定について

移行対象のクライアントPCおよびファイルサーバについて:

- Resource Update を実施するクライアントPCは、事前にRemote Registryのサービスを開始(自動)する必要があります。
- ワークステーション、サーバー、ルータ、およびファイアウォールの下記ポートが開かれていることを確認します。
ポート番号「135」「137～139」

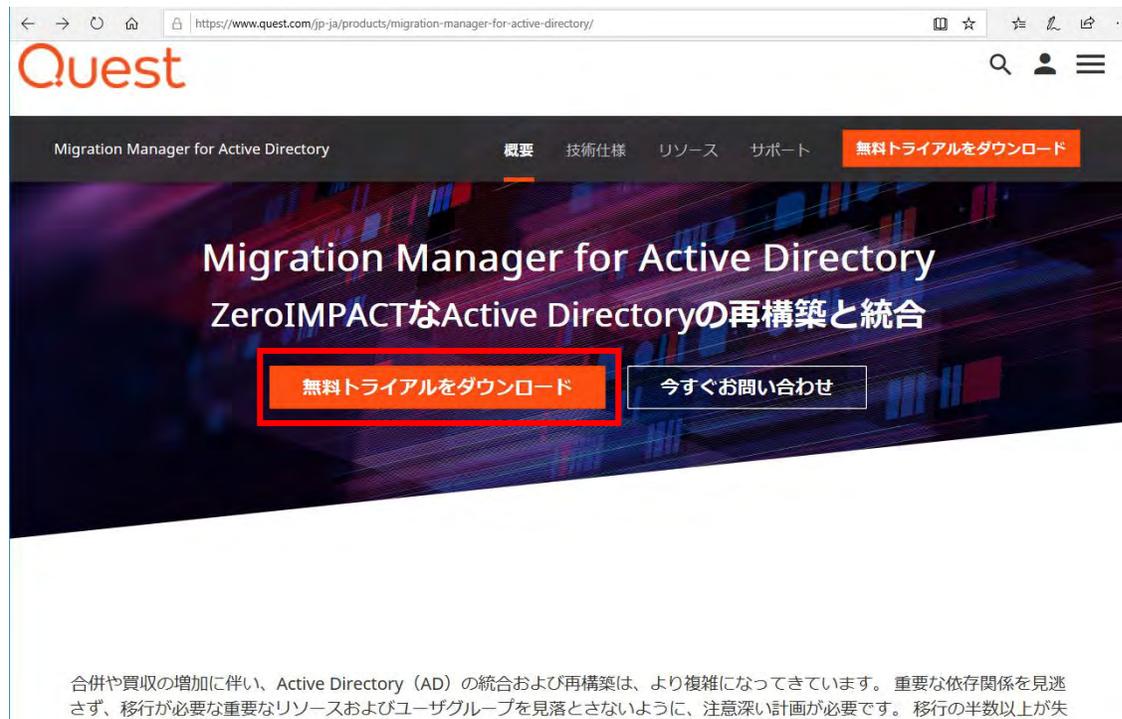
移行サーバのシステム要件（評価環境）

Migration Manager Console/AD-LDS/Resource Update/Directory Synchronization agent server x 1台

Platform (Dual Core CPU)	Intel x86
	AMD 64
	Intel EM64T
Memory (RAM)	8GBまたはそれ以上
Hard Disk Space	50GB またそれ以上
Operating System	Microsoft Windows Server 2019 (x64)
Additional Software	Microsoft .NET Framework 3.5 SP1/ Microsoft .NET Framework 4.0
	Active Directory Lightweight Directory Service (ADLDS - Role)

ソフトウェアのダウンロード

下記サイトの「無料トライアルをダウンロード」より、ダウンロードを行ってください。
<https://www.quest.com/jp-ja/products/migration-manager-for-active-directory/>



02

移行サーバ AD LDSと.Net Frameworkの インストール

AD LDSと.Net Frameworkのインストール



Windowsサーバー
マネージャーより、AD LDS
と.NetFrameworkを
インストールします。

AD LDSと.Net Frameworkのインストール

役割と機能の追加ウィザード

開始する前に

対象サーバー
Q-MMAD003.source005d.com

開始する前に

インストールの種類

サーバーの選択

このウィザードを使用すると、役割、役割サービス、または機能をインストールできます。ドキュメントの共有や Web サイトのホストなどの組織のコンピューティング ニーズに応じて、インストールする役割、役割サービス、または機能を決定します。

役割、役割サービス、または機能を削除するには、次の手順を実行します:
役割と機能の削除ウィザードの起動

続行する前に、次のタスクが完了していることを確認してください。

- 管理者アカウントに強力なパスワードが設定されている
- 静的 IP アドレスなどのネットワークの設定が構成されている
- Windows Update から最新のセキュリティ更新プログラムがインストールされている

前提条件が完了していることを確認する必要がある場合は、ウィザードを閉じて、それらの作業を完了してから、ウィザードを再度実行してください。

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

既定でこのページを表示しない(S)

< 前へ(P) 次へ(N) > インストール(I) キャンセル

AD LDSと.Net Frameworkのインストール



AD LDSと.Net Frameworkのインストール

役割と機能の追加ウィザード

対象サーバー
Q-MMAD003.source005d.com

対象サーバーの選択

開始する前に
インストールの種類
サーバーの選択
サーバーの役割
機能
確認
戻る

役割と機能をインストールするサーバーまたは仮想ハードディスクを選択します。

サーバープールからサーバーを選択
 仮想ハードディスクから選択

サーバープール

フィルター:

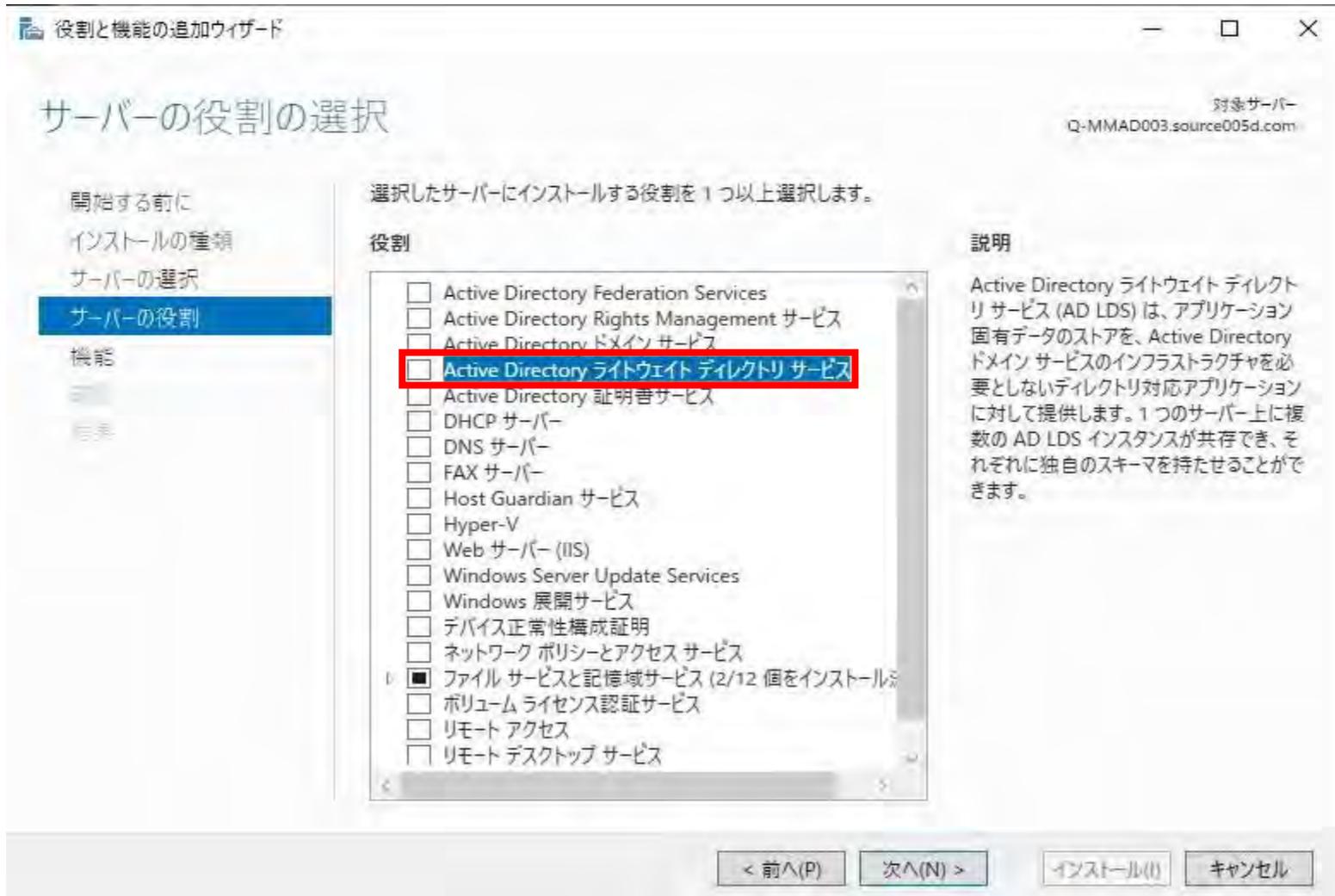
名前	IP アドレス	オペレーティング システム
Q-MMAD003.source005...	10.31.18.25	Microsoft Windows Server 2019 Standard

1 台のコンピューターが見つかりました

このページには、サーバー マネージャーの [サーバーの追加] コマンドを使用して追加された、Windows Server 2012 またはそれ以降のリリースの Windows Server を実行しているサーバーが表示されます。オフライン サーバーや、新たに追加されてデータ収集が完了していないサーバーは表示されません。

< 前(P) 次(N) > インストール(I) キャンセル

AD LDSと.Net Frameworkのインストール



The screenshot shows the 'Server Role Selection' step of the 'Add Roles and Features Wizard'. The target server is 'Q-MMAD003.source005d.com'. The 'Roles' list includes 'Active Directory Lightweight Directory Services', which is highlighted with a red box. The 'Description' pane on the right explains that AD LDS provides a directory service for applications that do not require the full Active Directory infrastructure. The 'File Services and Storage Spaces (2/12 roles installed)' checkbox is also checked.

役割と機能の追加ウィザード

サーバーの役割の選択

対象サーバー
Q-MMAD003.source005d.com

開始する前に
インストールの種類
サーバーの選択
サーバーの役割
機能

選択したサーバーにインストールする役割を 1 つ以上選択します。

役割	説明
<input type="checkbox"/> Active Directory Federation Services	
<input type="checkbox"/> Active Directory Rights Management サービス	
<input type="checkbox"/> Active Directory ドメイン サービス	
<input checked="" type="checkbox"/> Active Directory ライトウェイト ディレクトリ サービス	Active Directory ライトウェイト ディレクトリ サービス (AD LDS) は、アプリケーション固有データのストアを、Active Directory ドメイン サービスのインフラストラクチャを必要としないディレクトリ対応アプリケーションに対して提供します。1 つのサーバー上に複数の AD LDS インスタンスが共存でき、それぞれに独自のスキーマを持たせることができます。
<input type="checkbox"/> Active Directory 証明書サービス	
<input type="checkbox"/> DHCP サーバー	
<input type="checkbox"/> DNS サーバー	
<input type="checkbox"/> FAX サーバー	
<input type="checkbox"/> Host Guardian サービス	
<input type="checkbox"/> Hyper-V	
<input type="checkbox"/> Web サーバー (IIS)	
<input type="checkbox"/> Windows Server Update Services	
<input type="checkbox"/> Windows 展開サービス	
<input type="checkbox"/> デバイス正常性構成証明	
<input type="checkbox"/> ネットワーク ポリシーとアクセス サービス	
<input checked="" type="checkbox"/> ファイル サービスと記憶域サービス (2/12 個をインストール)	
<input type="checkbox"/> ボリューム ライセンス認証サービス	
<input type="checkbox"/> リモート アクセス	
<input type="checkbox"/> リモート デスクトップ サービス	

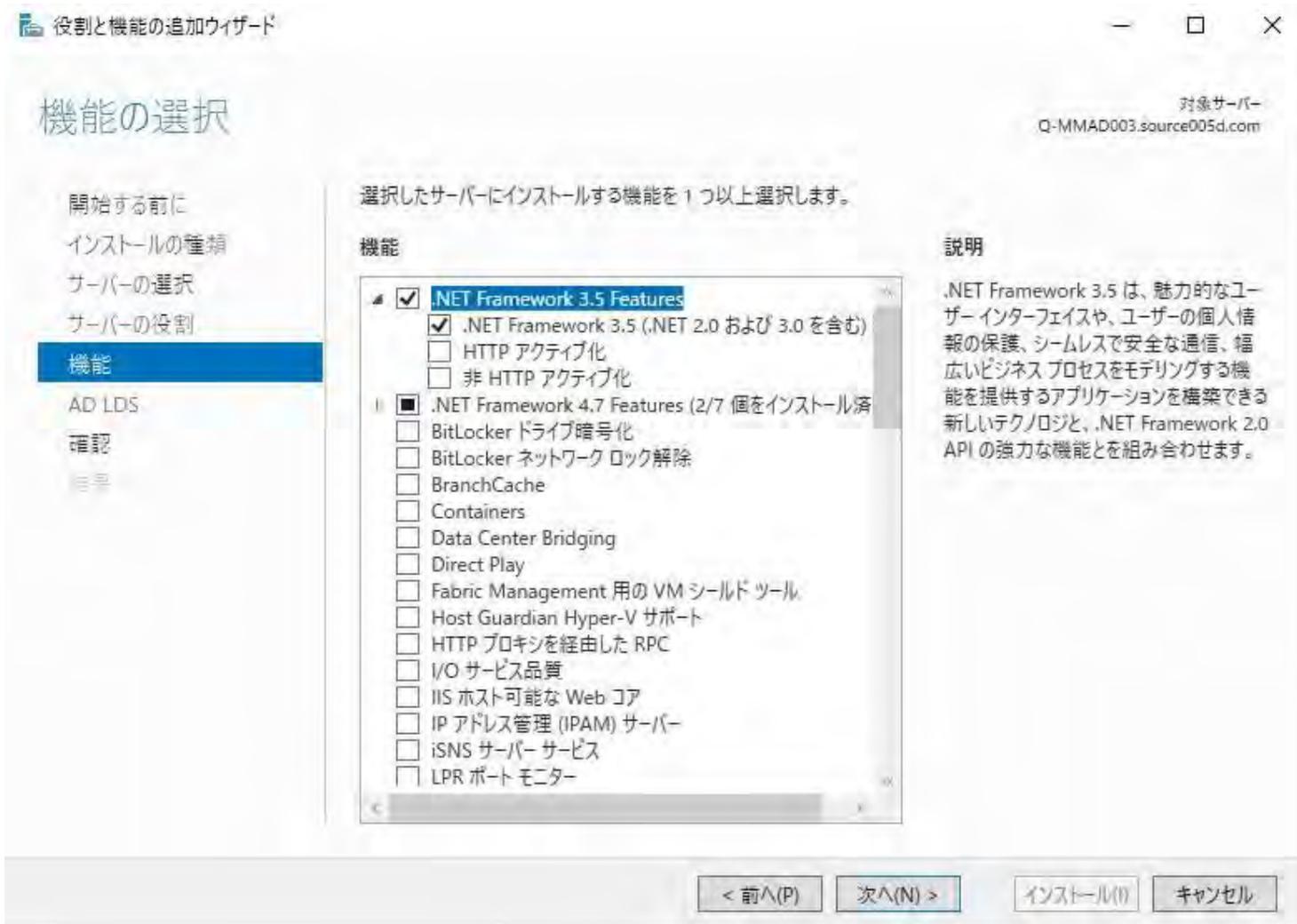
< 前へ(P) 次へ(N) > インストール(I) キャンセル

Active Directory ライトウェイトディレクトリサービスを選択します。

AD LDSと.Net Frameworkのインストール



AD LDSと.Net Frameworkのインストール



.Net Framework 3.5(.Net 2.0 および3.0を含む)を選択します。

AD LDSと.Net Frameworkのインストール

役割と機能の追加ウィザード

Active Directory ライトウェイト ディレクトリ サービス (AD LDS) 対象サーバー: Q-MMAD003.source005d.com

開始する前に
インストールの種類
サーバーの選択
サーバーの役割
機能
AD LDS
確認
完了

アプリケーション データ格納用のディレクトリを必要とするアプリケーションを使用する組織では、Active Directory ライトウェイト ディレクトリ サービス (AD LDS) を使用できます。AD LDS は非オペレーティング システム サービスを実行するので、ドメイン コントローラ 上への展開が不要です。非オペレーティング システム サービスとして動作することにより、単一サーバー上で AD LDS の複数インスタンスを同時に実行できます。また、各インスタンスを個別に構成することにより、複数のアプリケーションにサービスを提供できます。

注意事項:

- AD LDS のインストール後に、AD LDS のホーム ページの [高度なツール] セクションから AD LDS セットアップ ウィザードを起動することによって、AD LDS のインスタンスを作成できます。
- AD LDS の役割を削除する前に、コントロール パネルの [プログラムと機能] を使用し、以前にインストールした AD LDS インスタンスをすべて削除する必要があります。

< 前へ(P) 次へ(N) > インストール(I) キャンセル

AD LDSと.Net Frameworkのインストール

役割と機能の追加ウィザード

インストール オプションの確認

対象サーバー
Q-MMAD003.source005d.com

代替ソースパスを指定する必要がありますか? 1つ以上のインストールの選択項目がインストール先サーバーにないソースファイルです。サーバーは...

開始する前に
インストールの種類
サーバーの選択
サーバーの役割
機能
AD LDS
確認
戻る

選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、[インストール] をクリックしてください。

必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する

オプションの機能 (管理ツールなど) は、自動的に選択されるため、このページに表示されている可能性があります。これらのオプションの機能をインストールしない場合は、[前へ] をクリックして、チェック ボックスをオフにしてください。

.NET Framework 3.5 Features
.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)

Active Directory ライトウェイト ディレクトリ サービス

リモート サーバー管理ツール

役割管理ツール

AD DS および AD LDS ツール

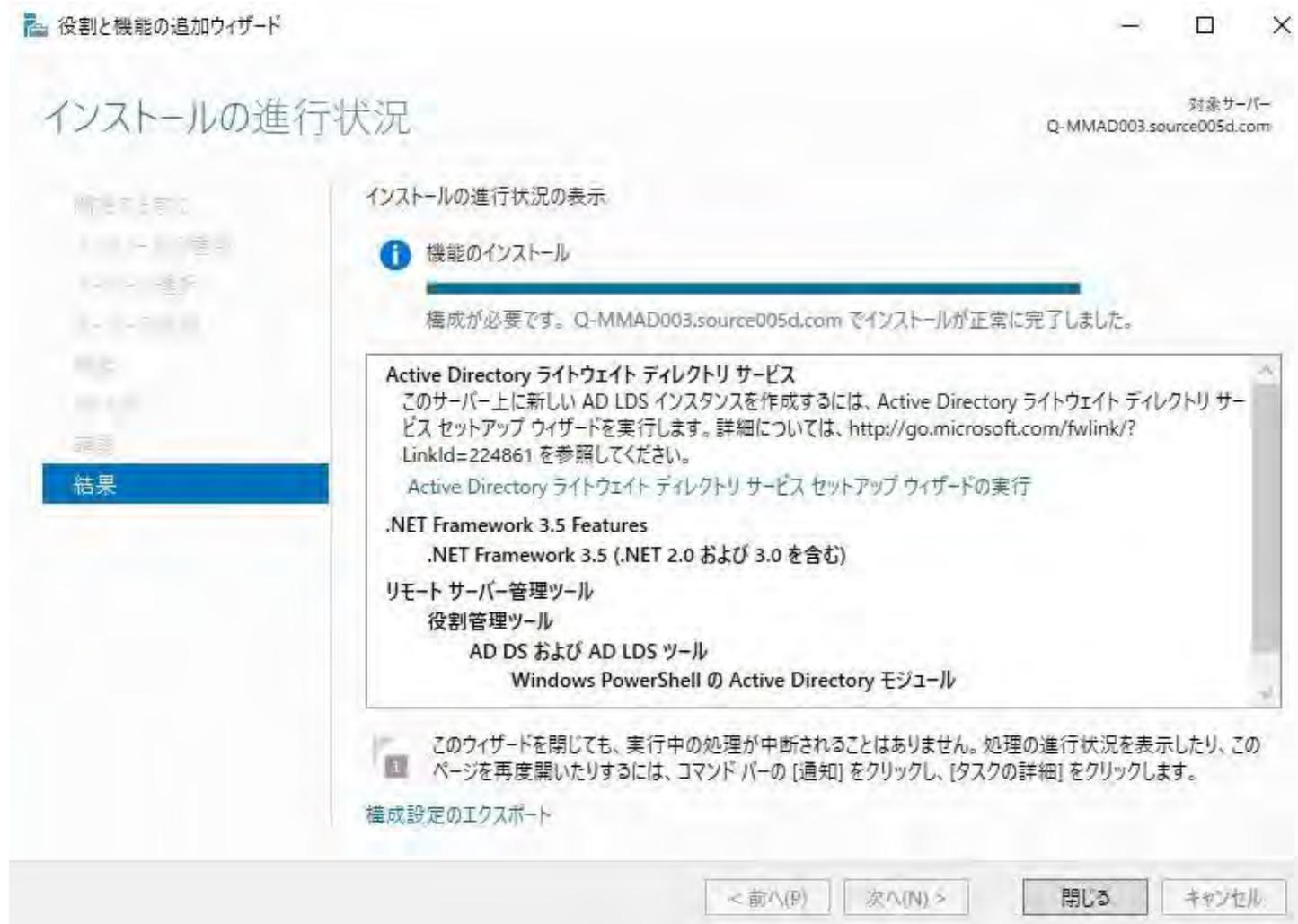
Windows PowerShell の Active Directory モジュール

AD LDS Snap-Ins and Command-Line Tools

構成設定のエクスポート
代替ソースパスの指定

< 前へ(P) 次へ(N) > インストール(I) キャンセル

AD LDSと.Net Frameworkのインストール



Active Directory ライトウェイトディレクトリサービスと.Net Framework 3.5(.Net 2.0 および3.0を含む)のインストールが完了したことを確認します。

AD LDSと.Net Frameworkのインストール

The screenshot shows the Windows Server Manager interface. A warning message is displayed in the center, titled "展開後構成" (After Expansion Configuration). The message states: "Q-MMAD003 で Active Directory ライトウェイト ディレクトリ サービス の構成が必要です" (Configuration of Active Directory Lightweight Directory Services is required on Q-MMAD003) and "Active Directory ライトウェイト ディレクトリ サービス セット..." (Active Directory Lightweight Directory Services Setup...). The message is highlighted with a red box. Below the warning, there is a section for "機能のインストール" (Feature Installation) which indicates that the installation of AD LDS is complete. The background shows the Server Manager dashboard with various server roles and features listed.

Windowsサーバー
マネージャーより、Active
Directoryライトウェイト
ディレクトリサービスセットアップ
を選択します。

AD LDSと.Net Frameworkのインストール



AD LDSと.Net Frameworkのインストール



AD LDSと.Net Frameworkのインストール

Active Directory ライトウェイトディレクトリ サービス セットアップ ウィザード

インスタンス名
インスタンス名は、この AD LDS インスタンスとこのコンピューター上のほかの AD LDS インスタンスとを区別するために使用されます。

このインスタンスの名前を入力してください。この AD LDS インスタンスの使用目的がわかるような名前を選んでください。

インスタンス名(I):

例: Addressbook1

説明(D):

AD LDS サービス名は、インスタンス名と製品名を組み合わせで作成され、Windows のサービスの一覧に表示されます。この際、ユーザーが入力した説明も表示されます。

AD LDS サービス表示名: instance1
AD LDS サービス名: ADAM_instance1

< 戻る(B) 次^(N) > キャンセル ヘルプ

AD LDSと.Net Frameworkのインストール

Active Directory ライトウェイトディレクトリ サービス セットアップ ウィザード

ポート

コンピューターは、このコンピューターに関連付けられているすべての IP アドレス上にある特定のポートを使って、この AD LDS インスタンスに接続します。

下に表示されているポートは、このコンピューターで最初に利用可能なポートです。これらのポートを変更するには、下のテキスト ボックスに新しいポート番号を入力してください。

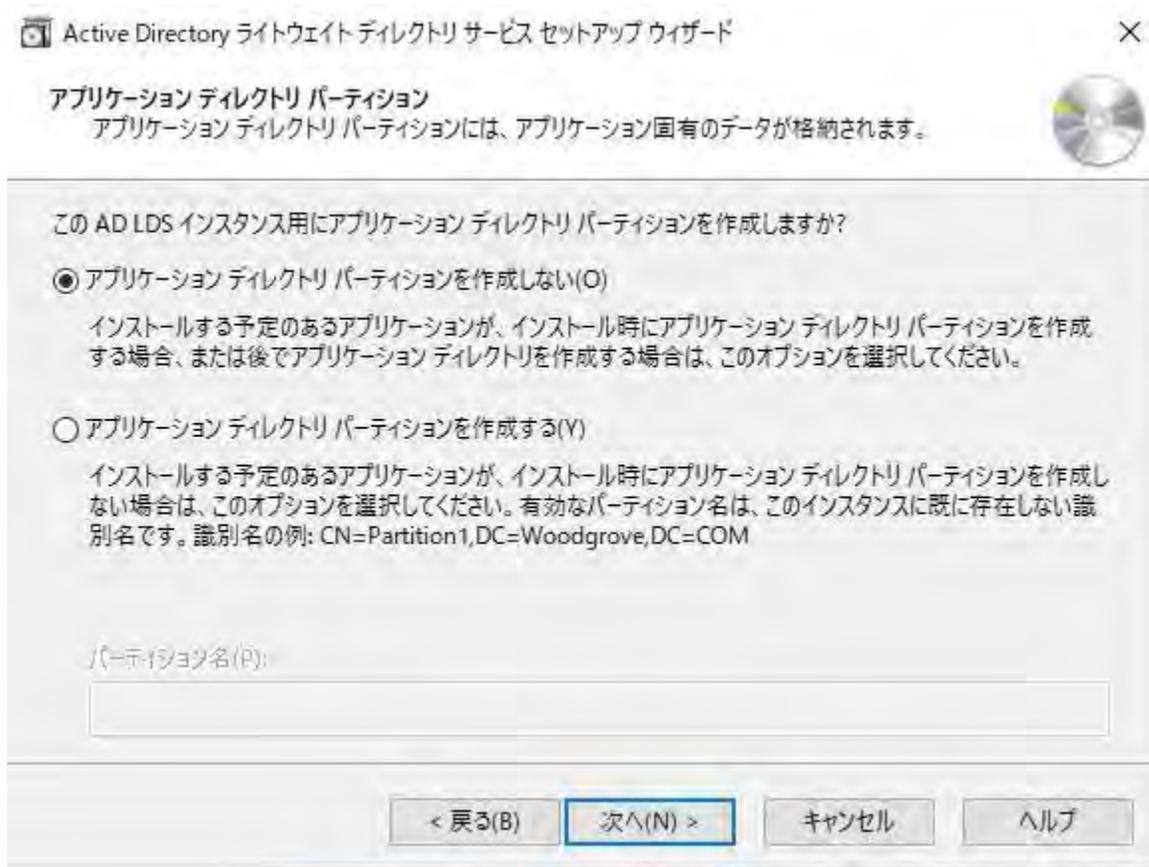
このコンピューターに Active Directory ドメイン サービスをインストールする予定がある場合は、LDAP ポートに 389、または SSL ポートに 636 は使用しないでください。これらのポート番号は Active Directory ドメイン サービスによって使用されます。その代わりに 1025 - 65535 の範囲で利用できるポート番号を使用してください。

LDAP ポート番号(L):

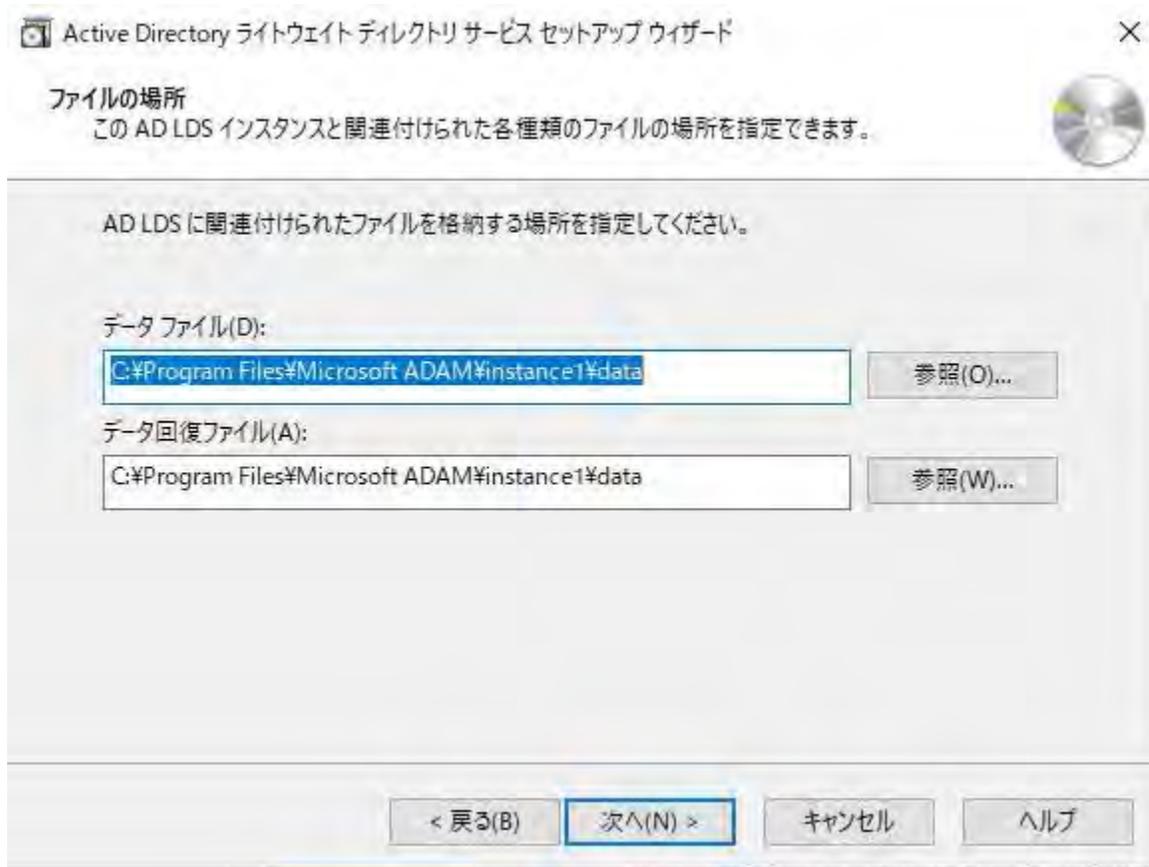
SSL ポート番号(S):

< 戻る(B) 次^>(N) > キャンセル ヘルプ

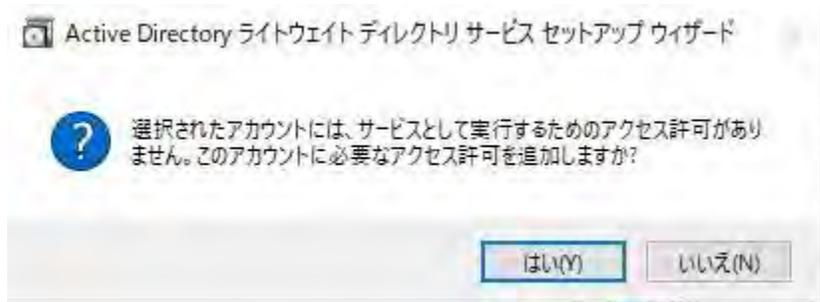
AD LDSと.Net Frameworkのインストール



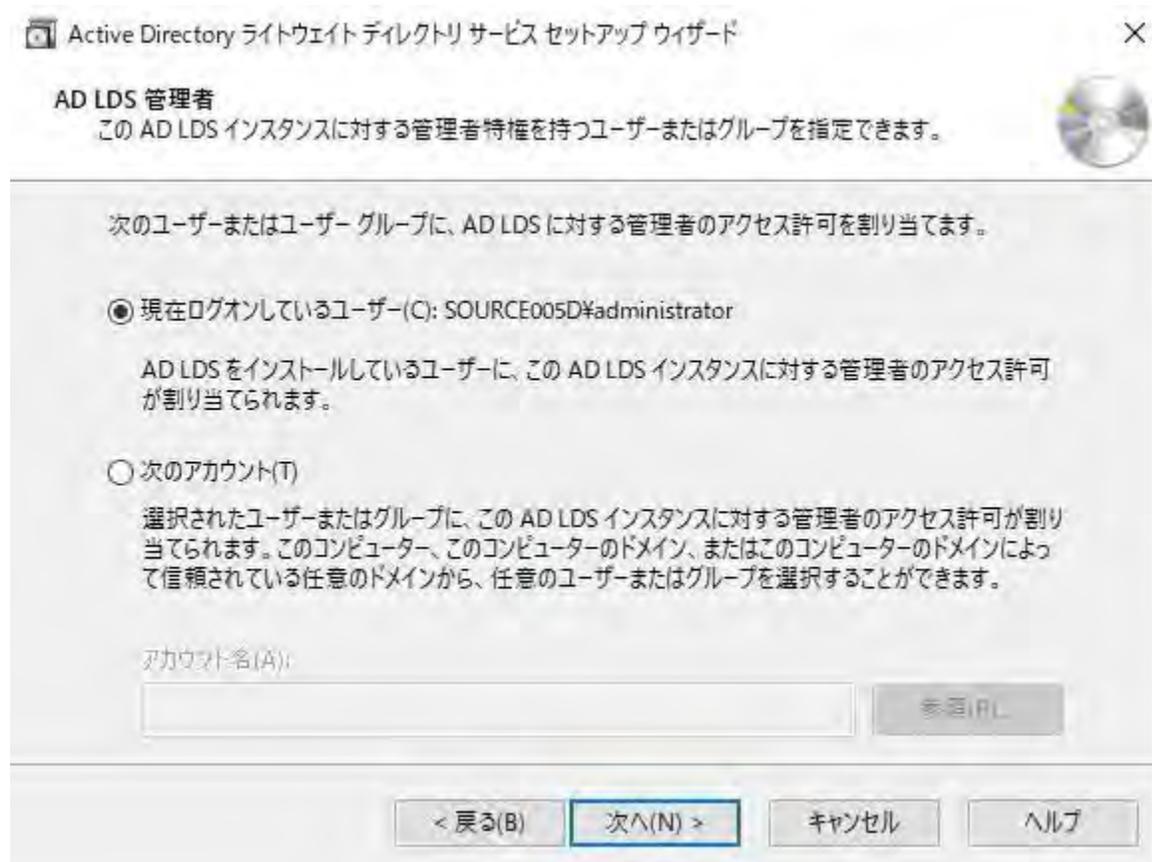
AD LDSと.Net Frameworkのインストール



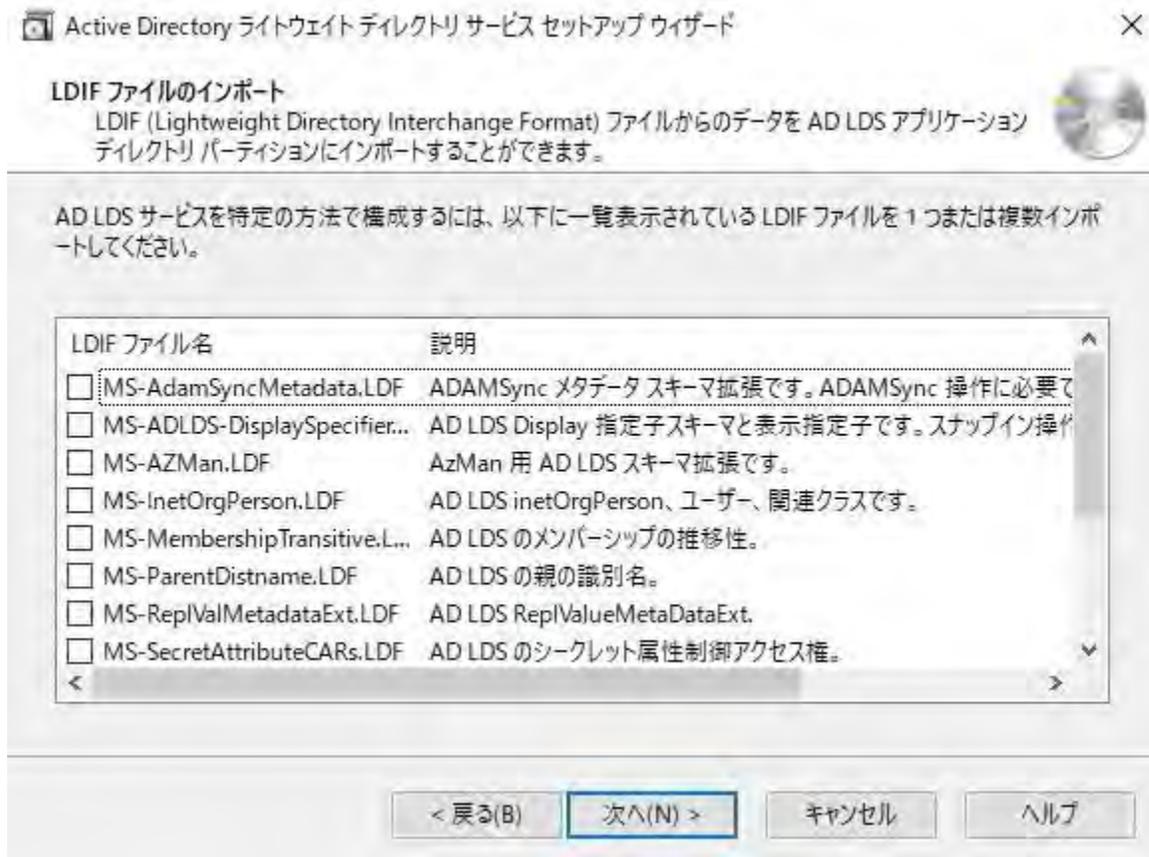
AD LDSと.Net Frameworkのインストール



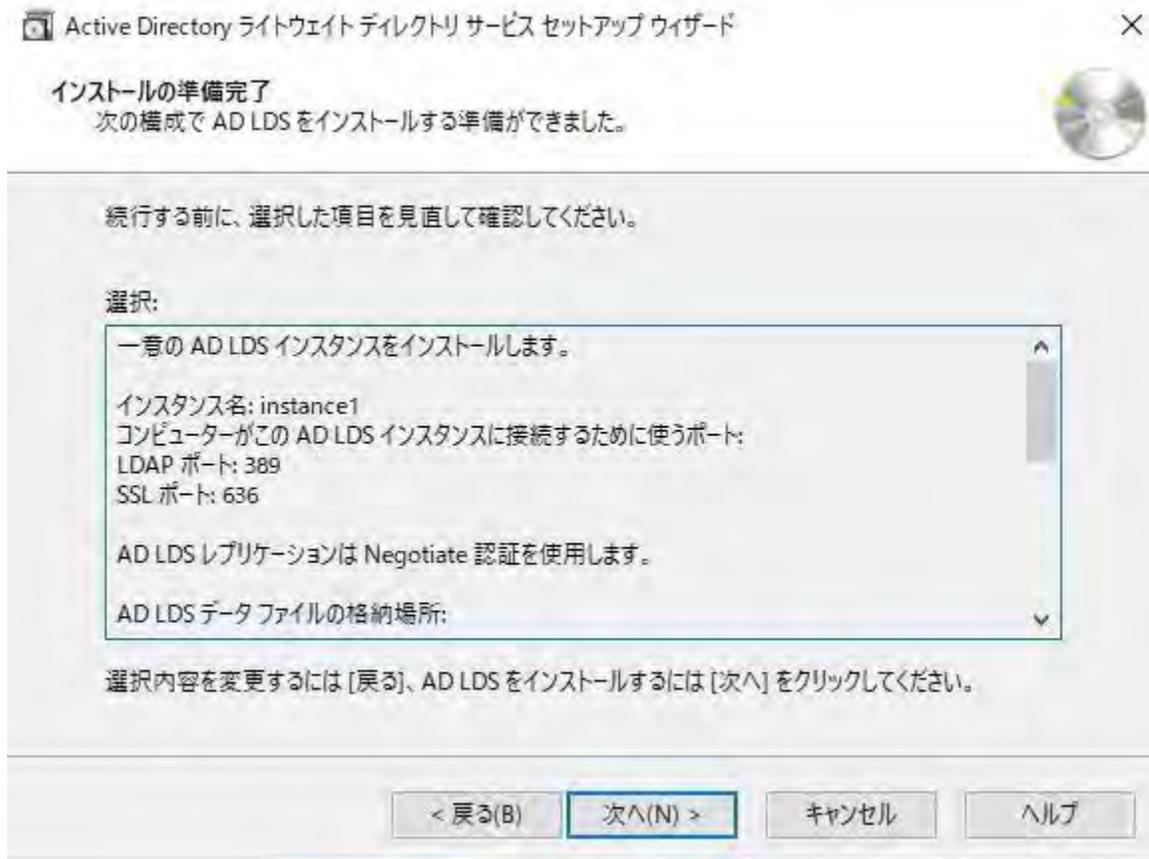
AD LDSと.Net Frameworkのインストール



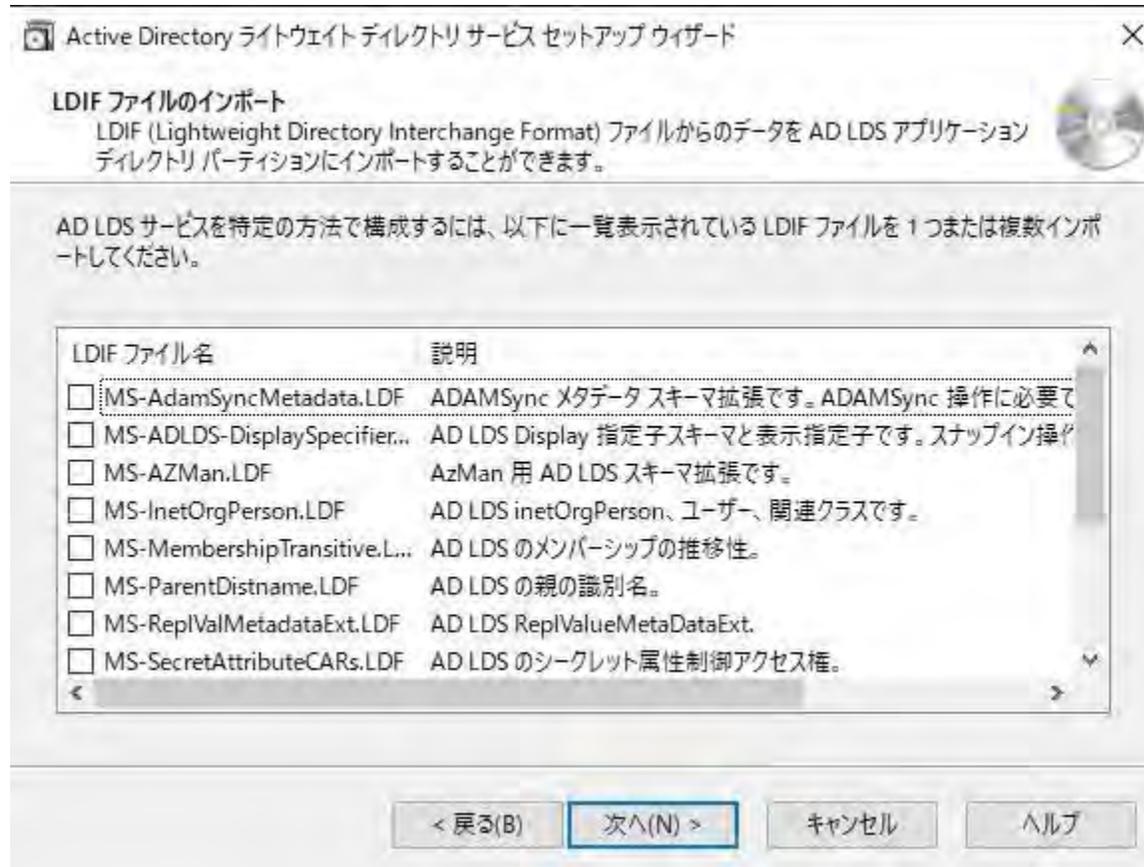
AD LDSと.Net Frameworkのインストール



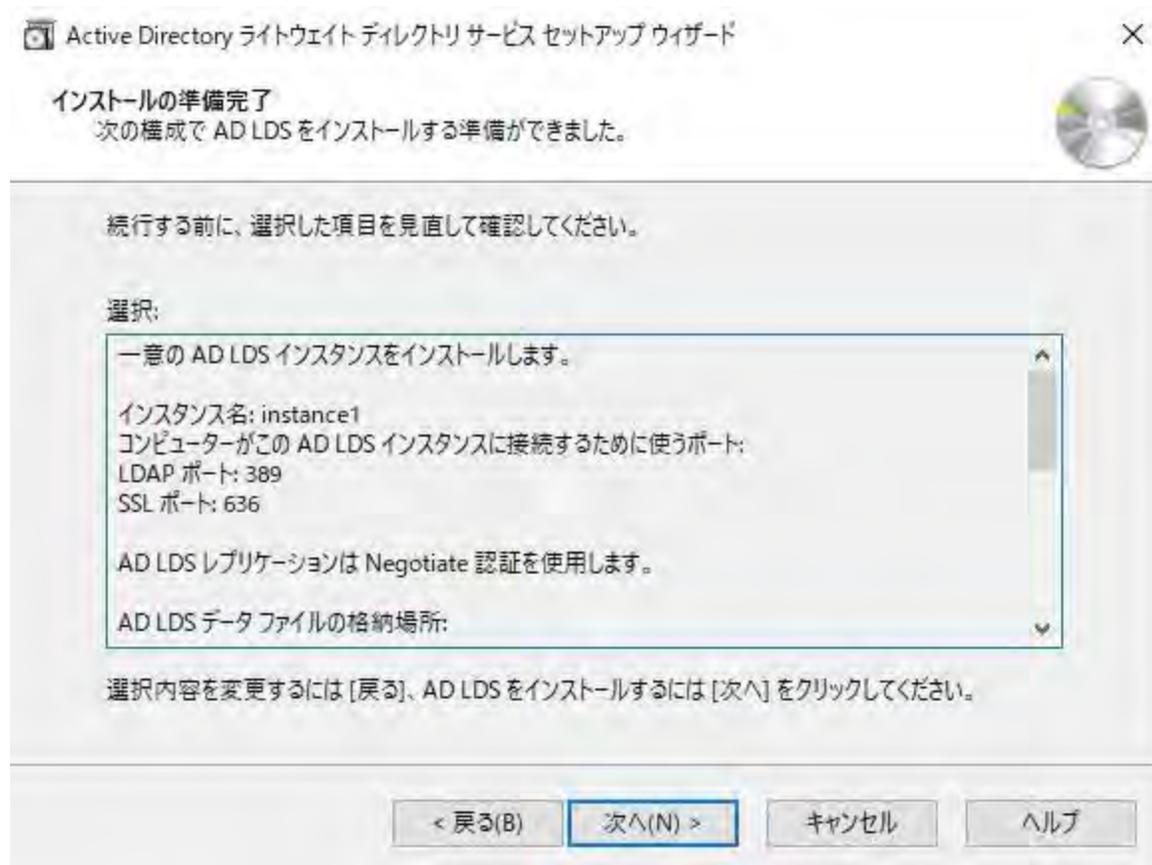
AD LDSと.Net Frameworkのインストール



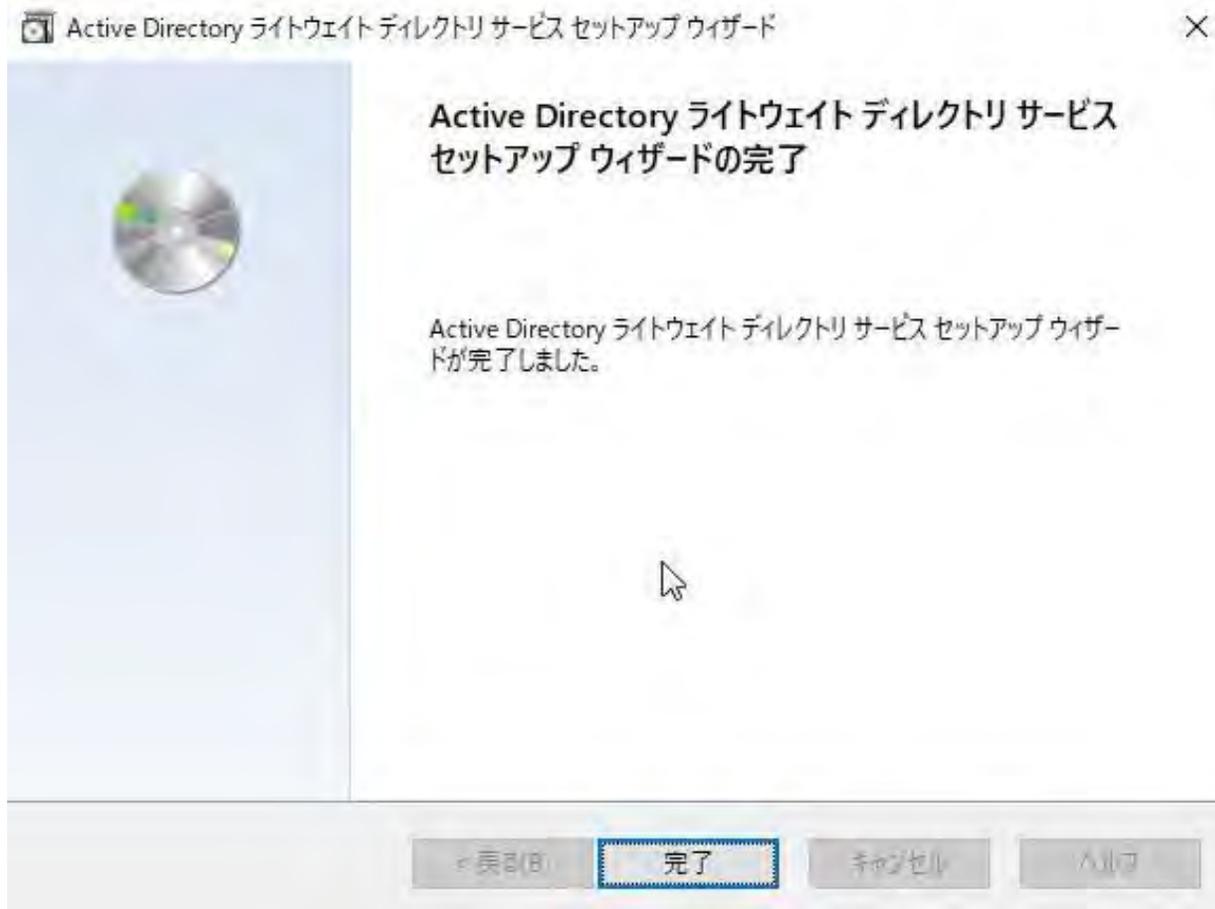
AD LDSと.Net Frameworkのインストール



AD LDSと.Net Frameworkのインストール



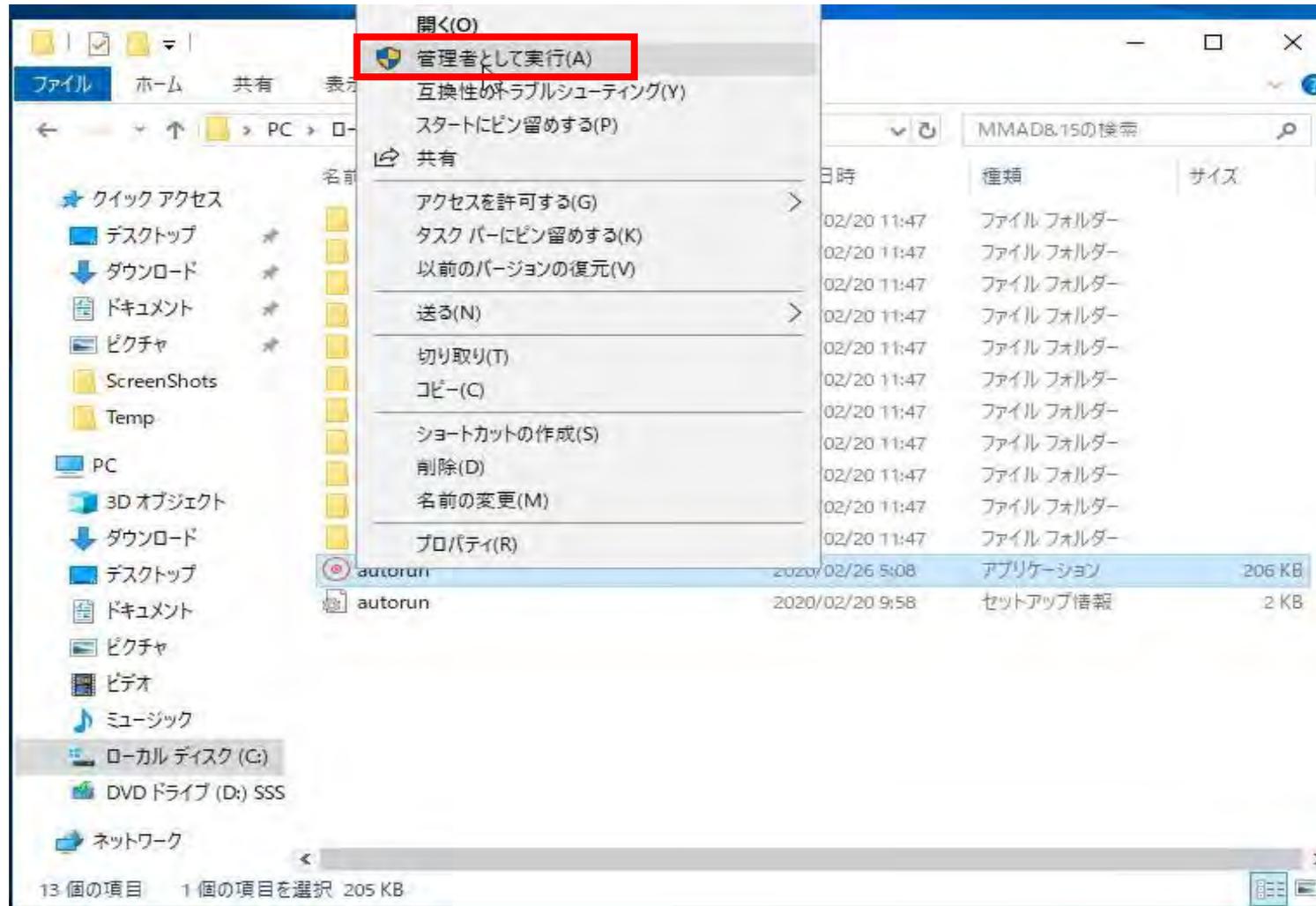
AD LDSと.Net Frameworkのインストール



03

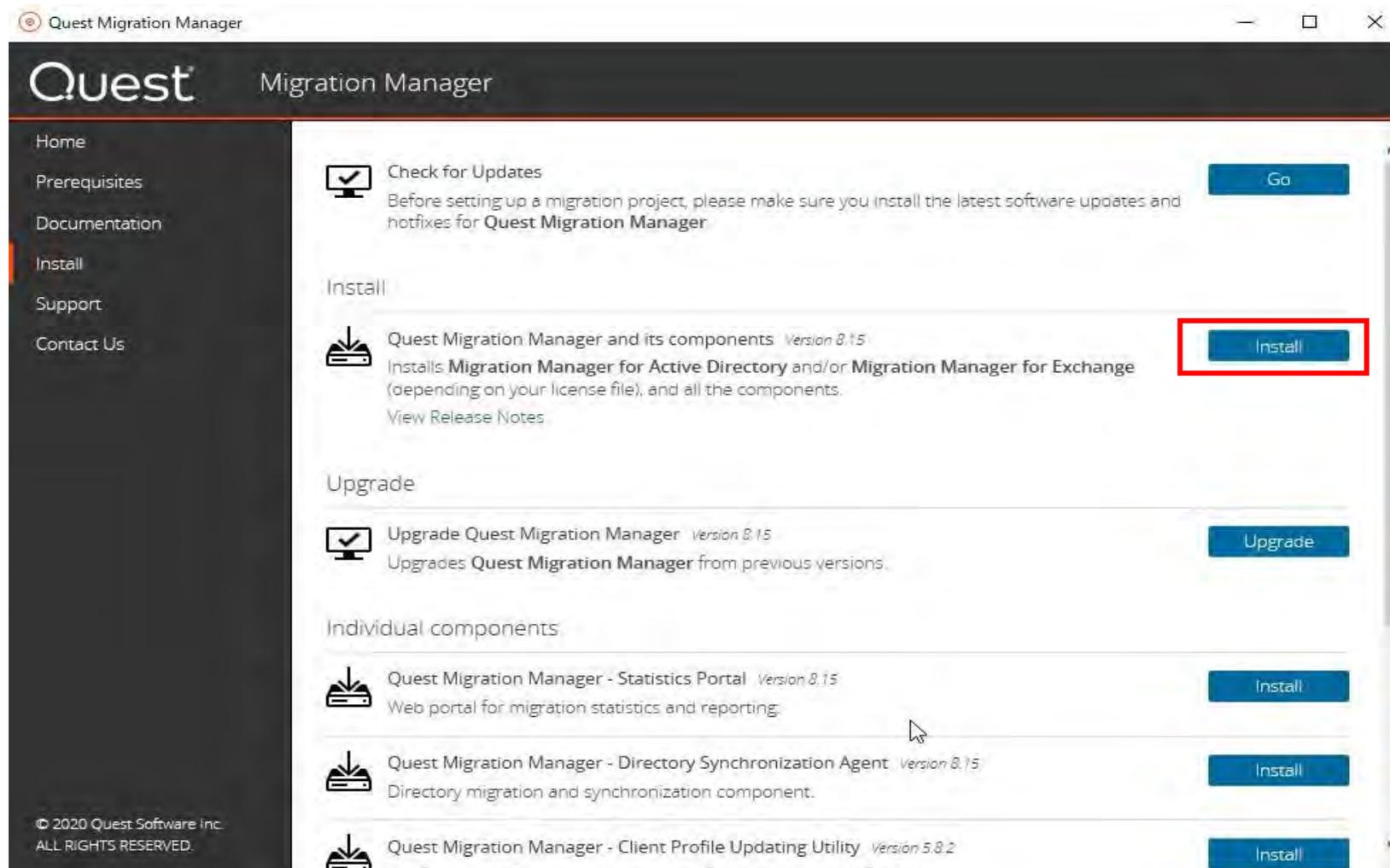
移行サーバ Migration Manager for Active Directory(MMAD)の インストール

MMADのインストール



MMADのCDイメージから Autorunを右クリックし、「管理者として実行」を選択します。

MMADのインストール

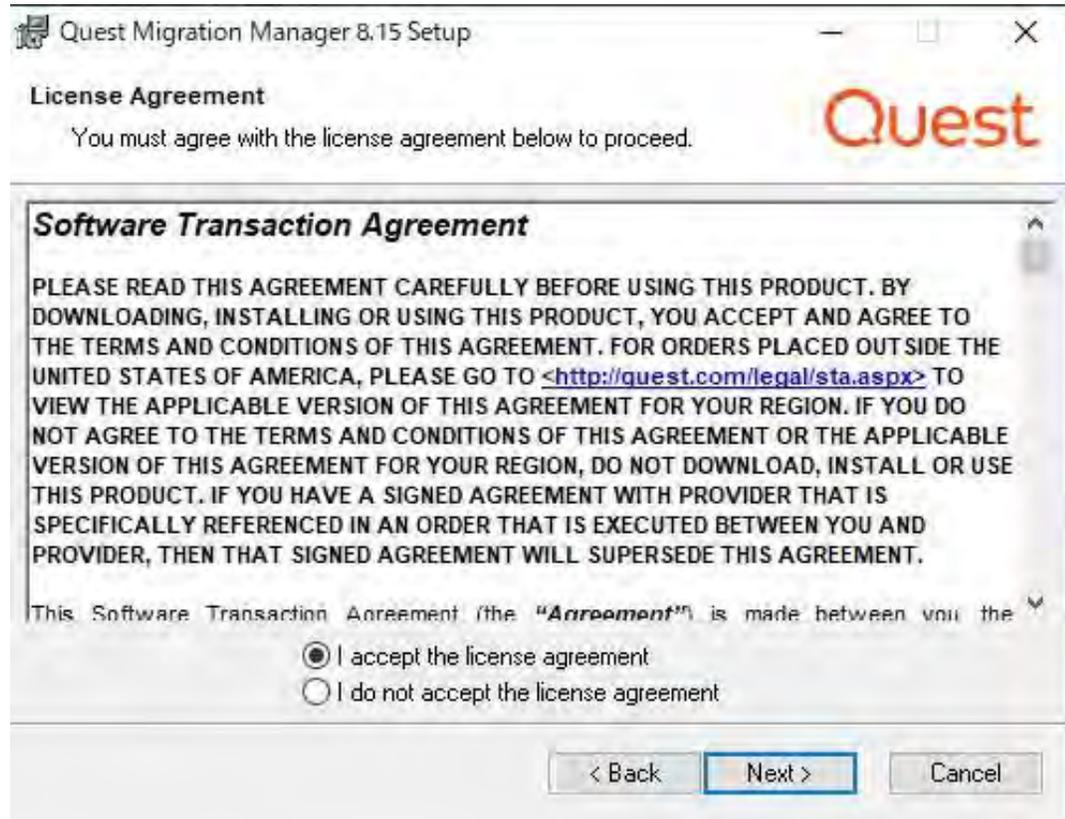


「Quest Migration Manager and its components」のInstallを選択します。

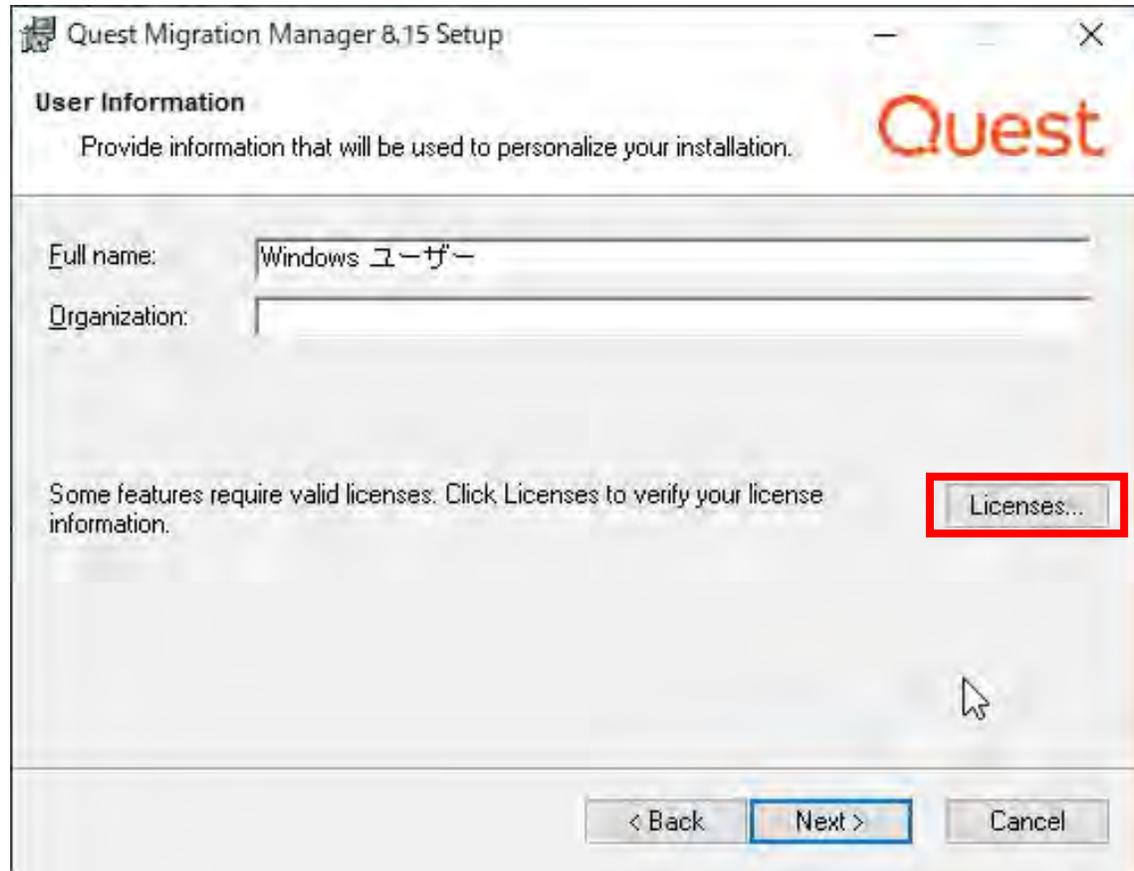
MMADのインストール



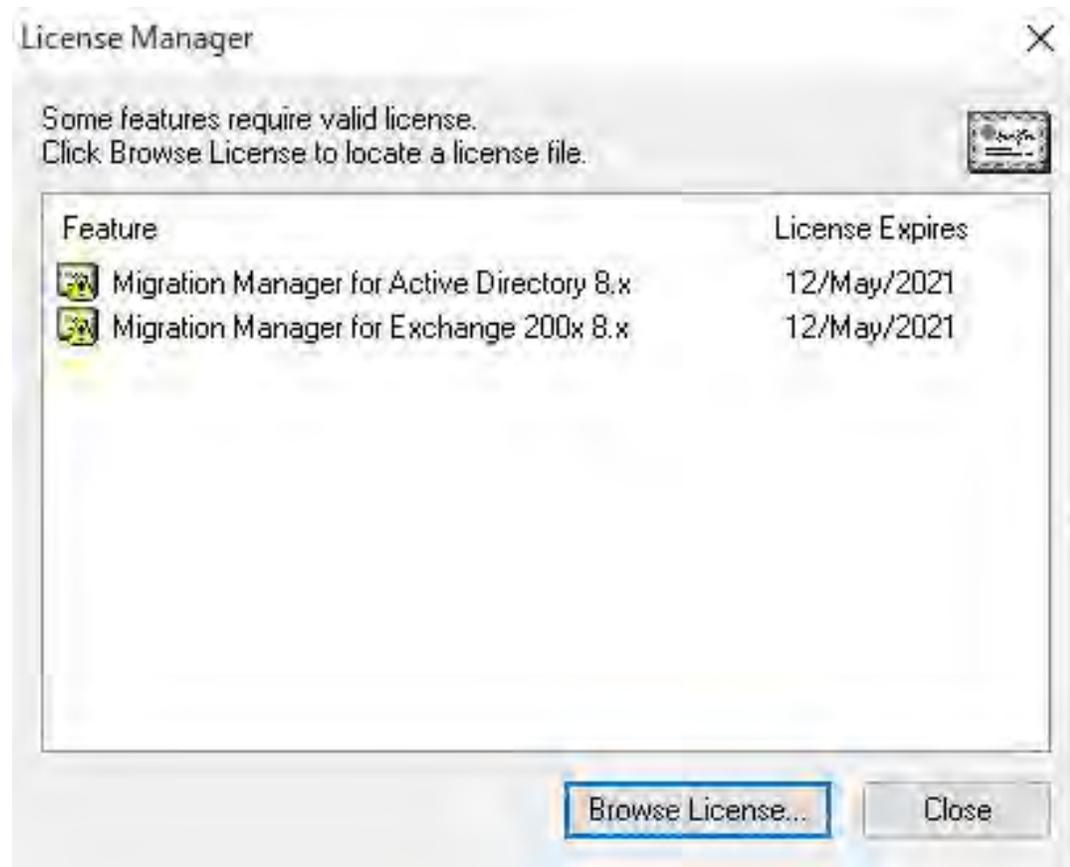
MMADのインストール



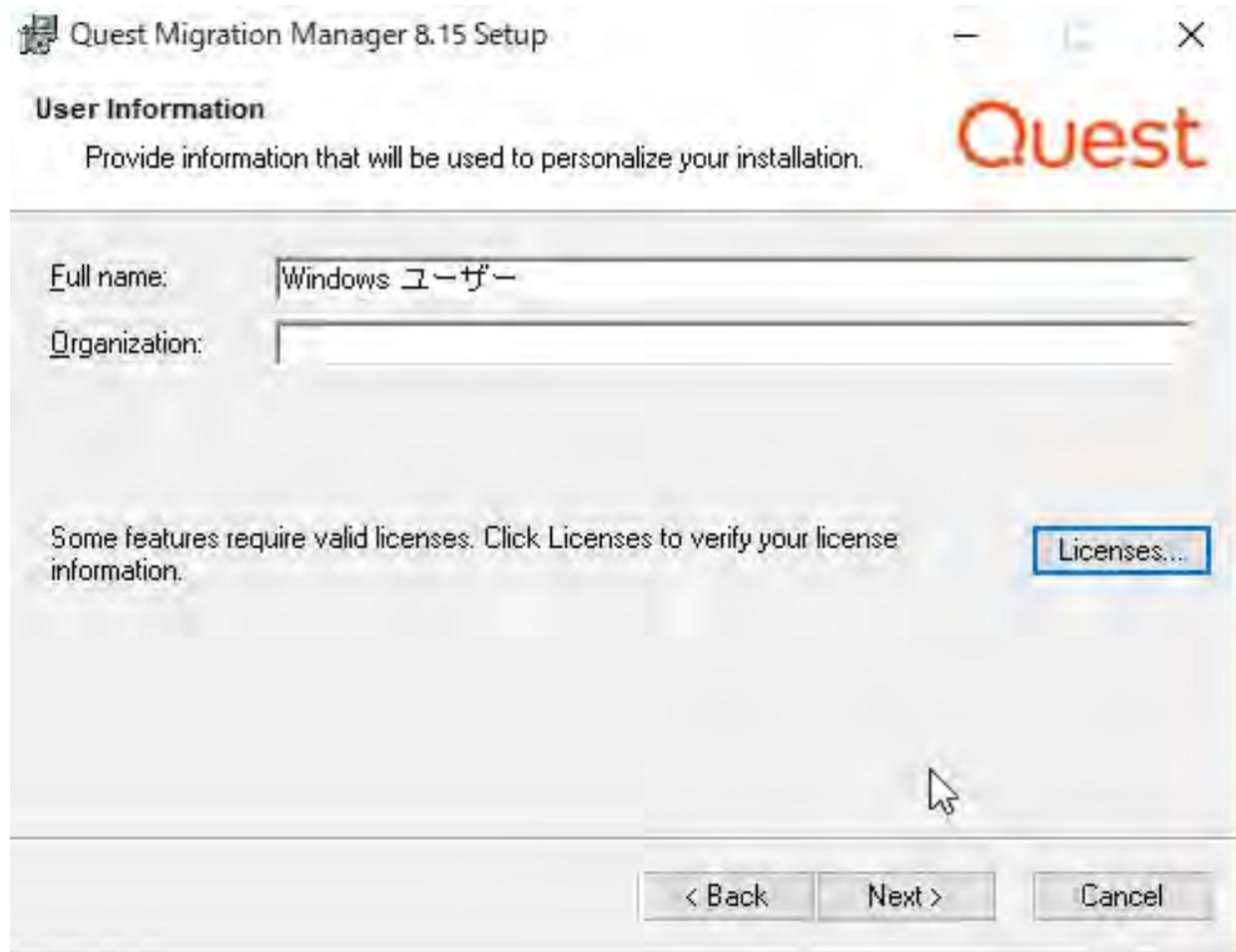
MMADのインストール



MMADのインストール



MMADのインストール



Quest Migration Manager 8.15 Setup

User Information
Provide information that will be used to personalize your installation.

Full name: Windows ユーザー

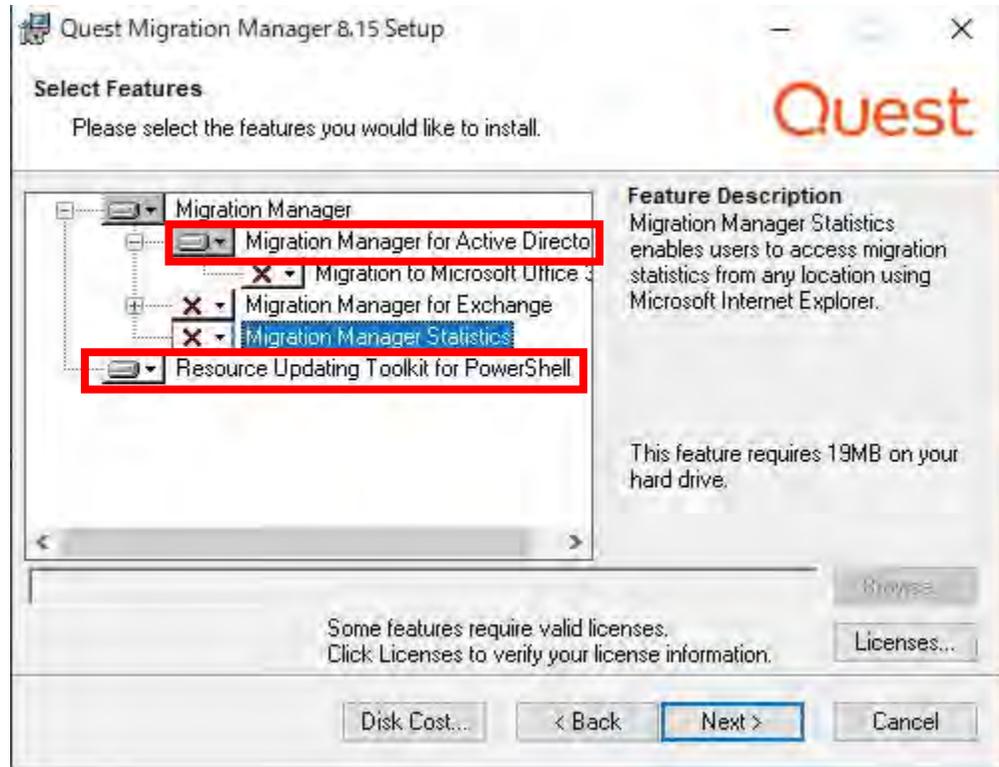
Organization:

Some features require valid licenses. Click Licenses to verify your license information.

Licenses...

< Back Next > Cancel

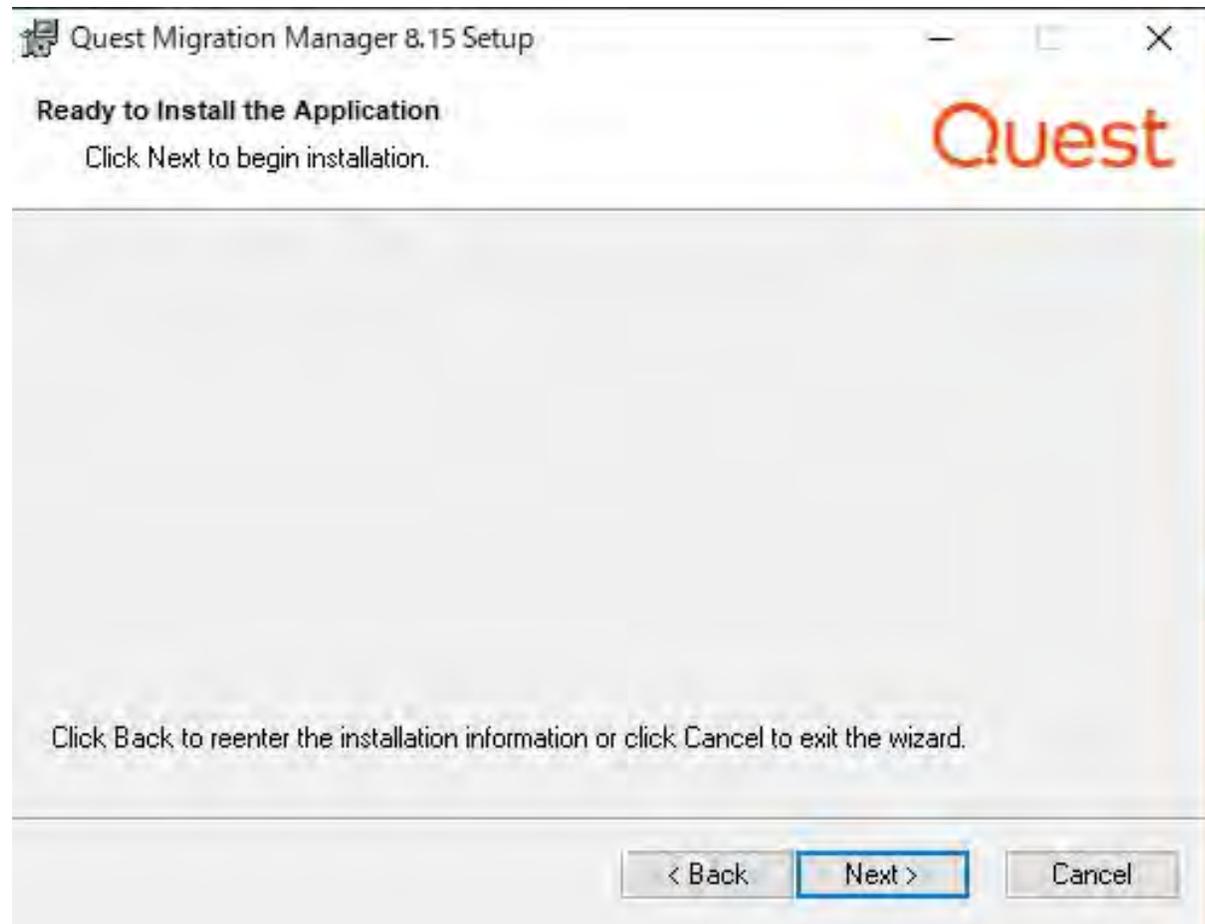
MMADのインストール



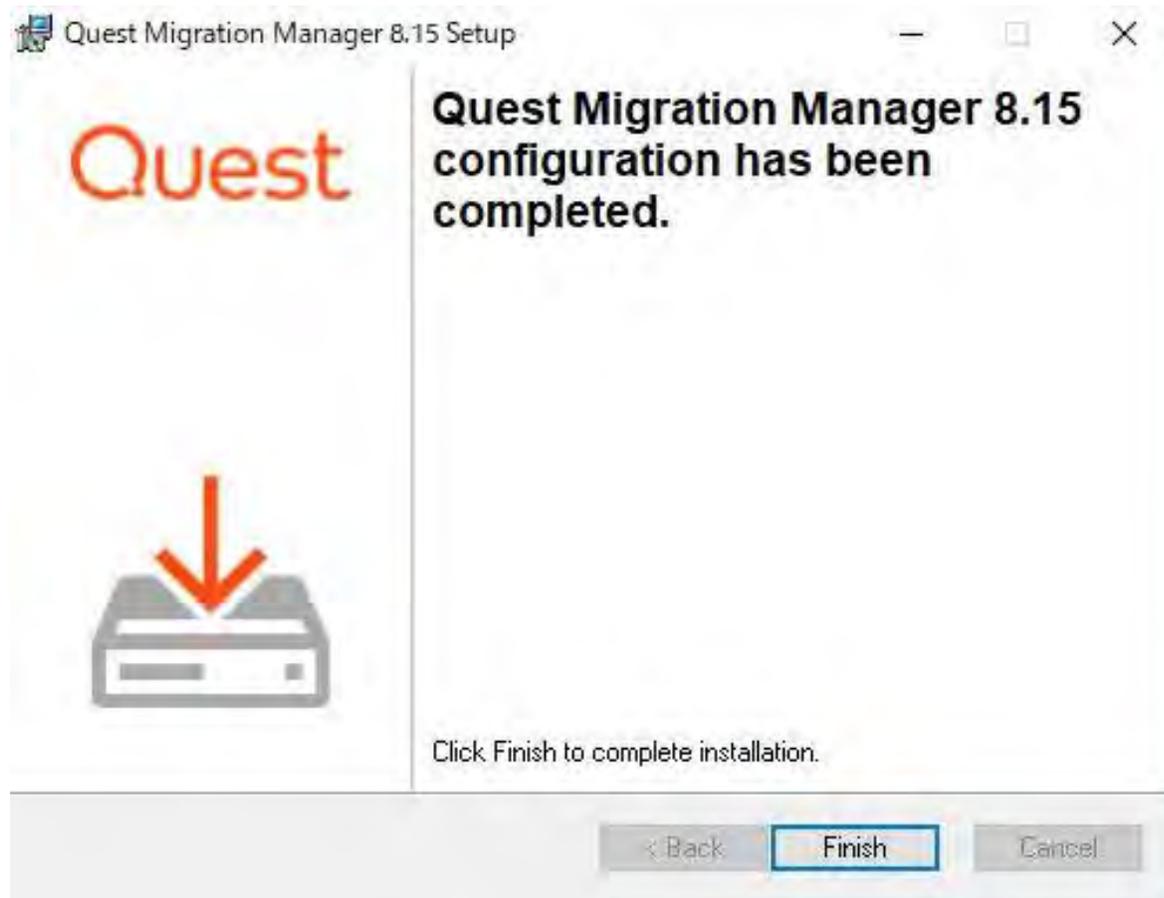
ここでは、下記2つのコンポーネントだけ選択します。

- Migration Manager for Active Directory
- Resource Updating Toolkit for PowerShell

MMADのインストール



MMADのインストール



04

移行サーバ Migration Manager for Active Directory(MMAD)の 設定

MMADの設定

Open Project Wizard

Welcome

Welcome to the Open Project Wizard



Welcome

This wizard helps you set up a new migration project or connect to an existing project.
Before you use the wizard, please ensure access to the following:

- AD LDS
- SQL Server, SQL Server Express or MSDE (only for Exchange migrations)
- Statistics Portal on an IIS server

 This wizard can only be used for Active Directory to Active Directory migrations. For migration to Microsoft Office 365 use the [Migration Manager for Active Directory \(Office 365\)](#)

To view the online help, press F1.
To continue, click Next.

Help < Back Next > Cancel

MMADの設定

Open Project Wizard

Select Project
Please specify the server where AD LDS is installed. Then, either select a migration project already in the database or create a new one.



Welcome
Configure AD LDS Project
Set Auxiliary Account
Configure Statistics Portal
Finish

AD LDS server:

Port:

Select a project

Use existing project:

Create a new project

MMADの設定

Open Project Wizard

Set Auxiliary Account

Various Migration Manager components need to access the project database in AD LDS. Please specify the account that they will use for this purpose.

Please specify the account that migration agents, Resource Updating Manager, and Statistics Portal will use to connect to the AD LDS project database.

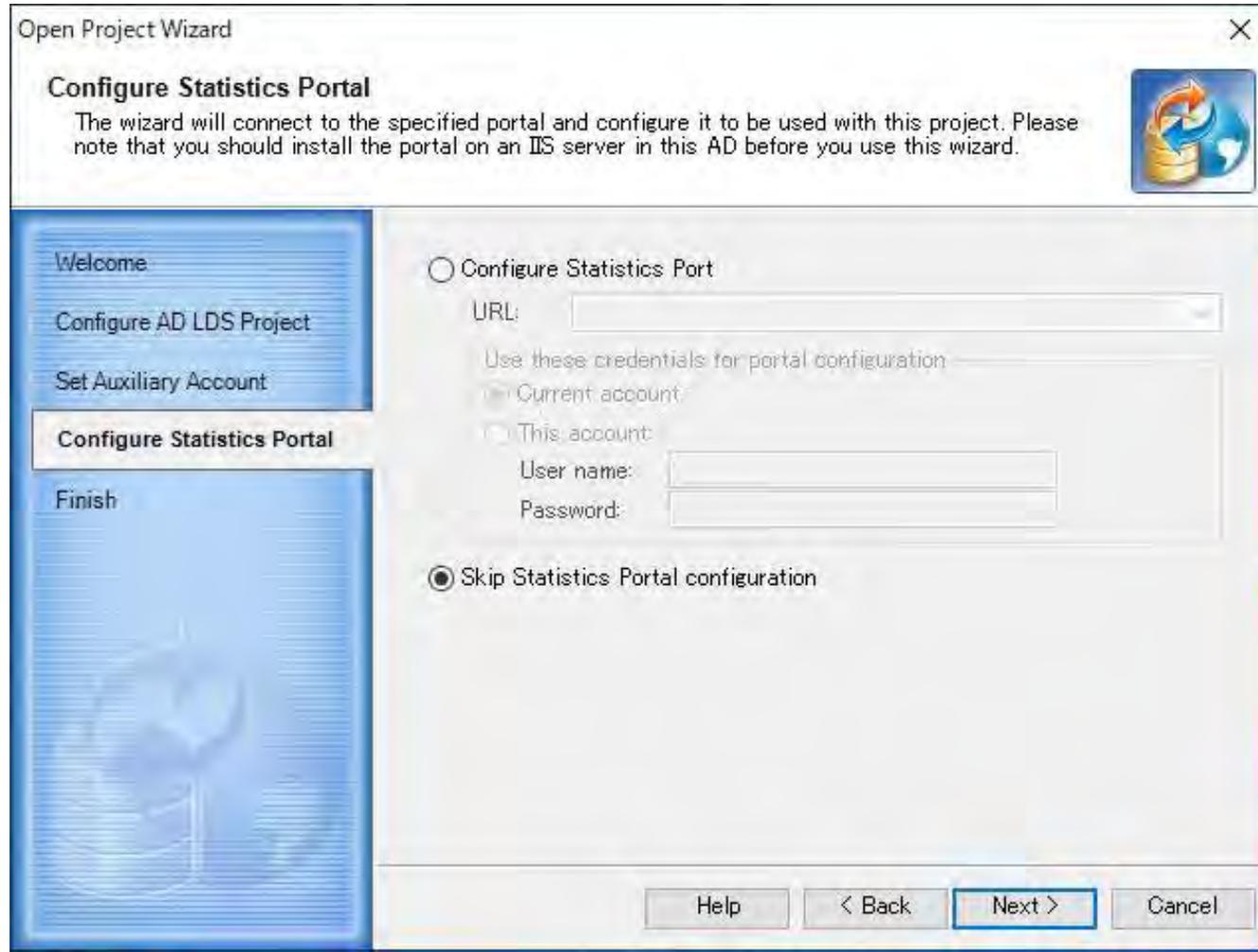
User name:

Password:

 The account does not have to have any particular privileges in the network. The wizard will automatically grant the account the rights it would need in the project database.

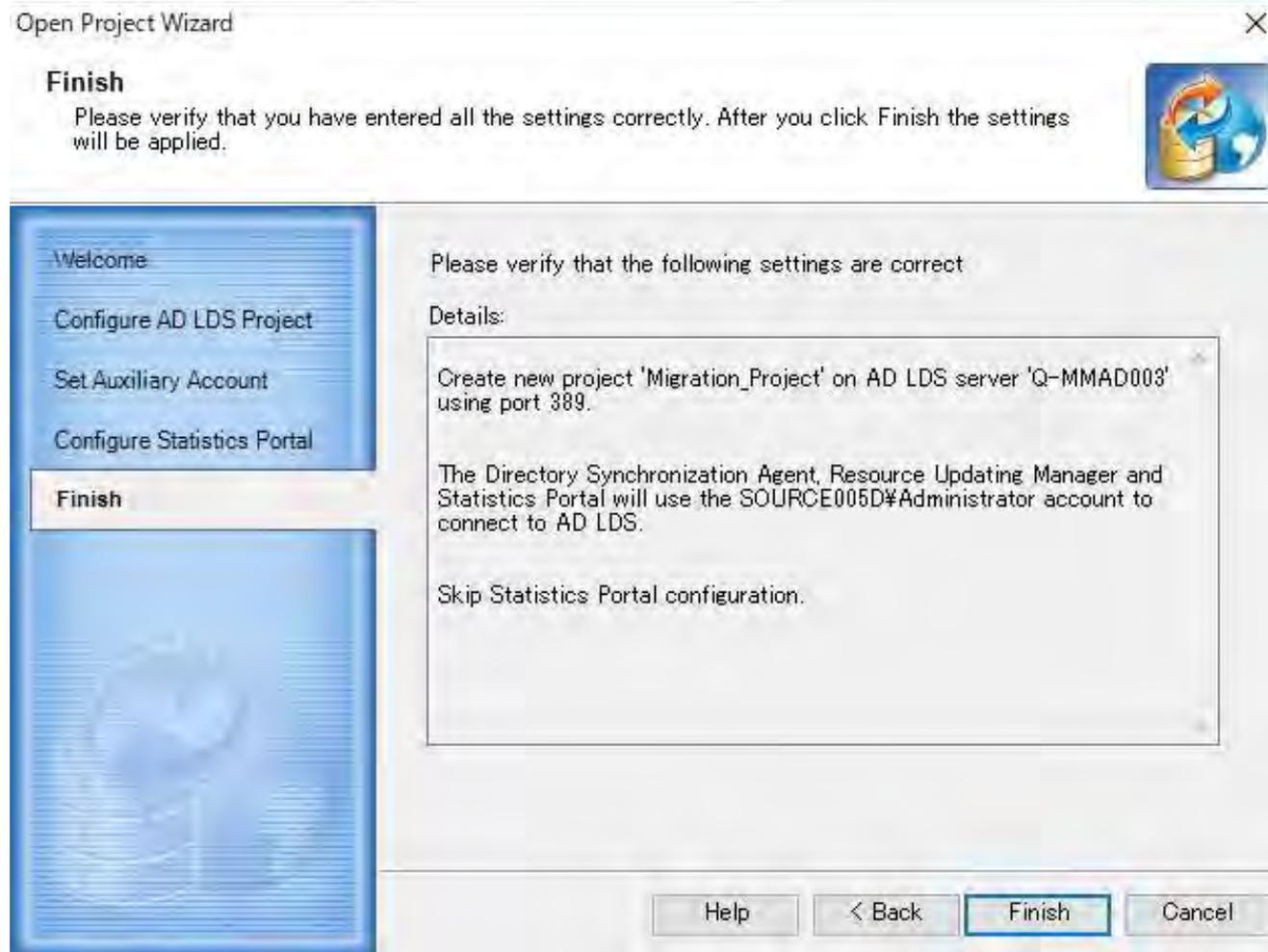
ローカルのAdministratorとDomain Adminsの権限を持ったユーザ指定します。

MMADの設定

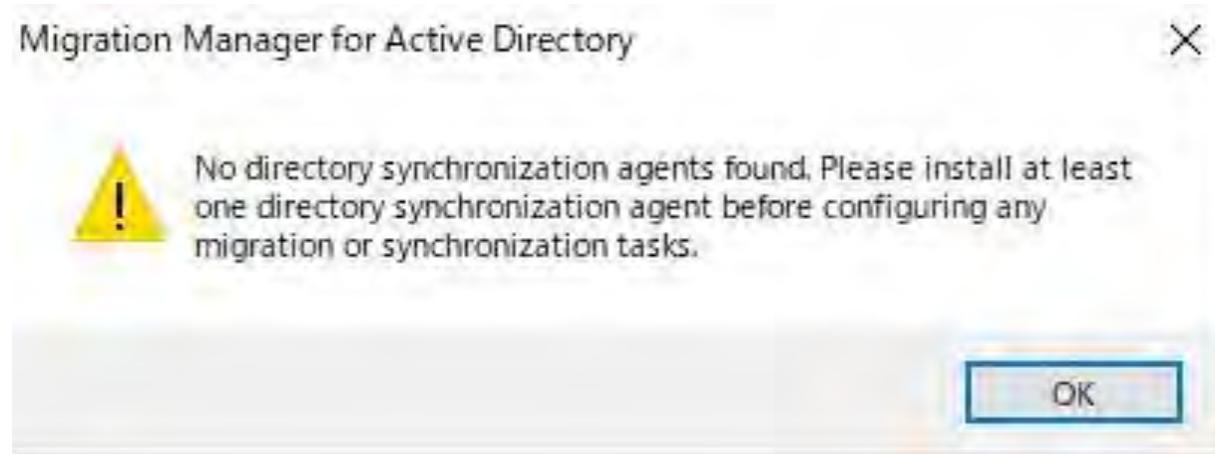


ここでは、Statistics Portalをスキップします。

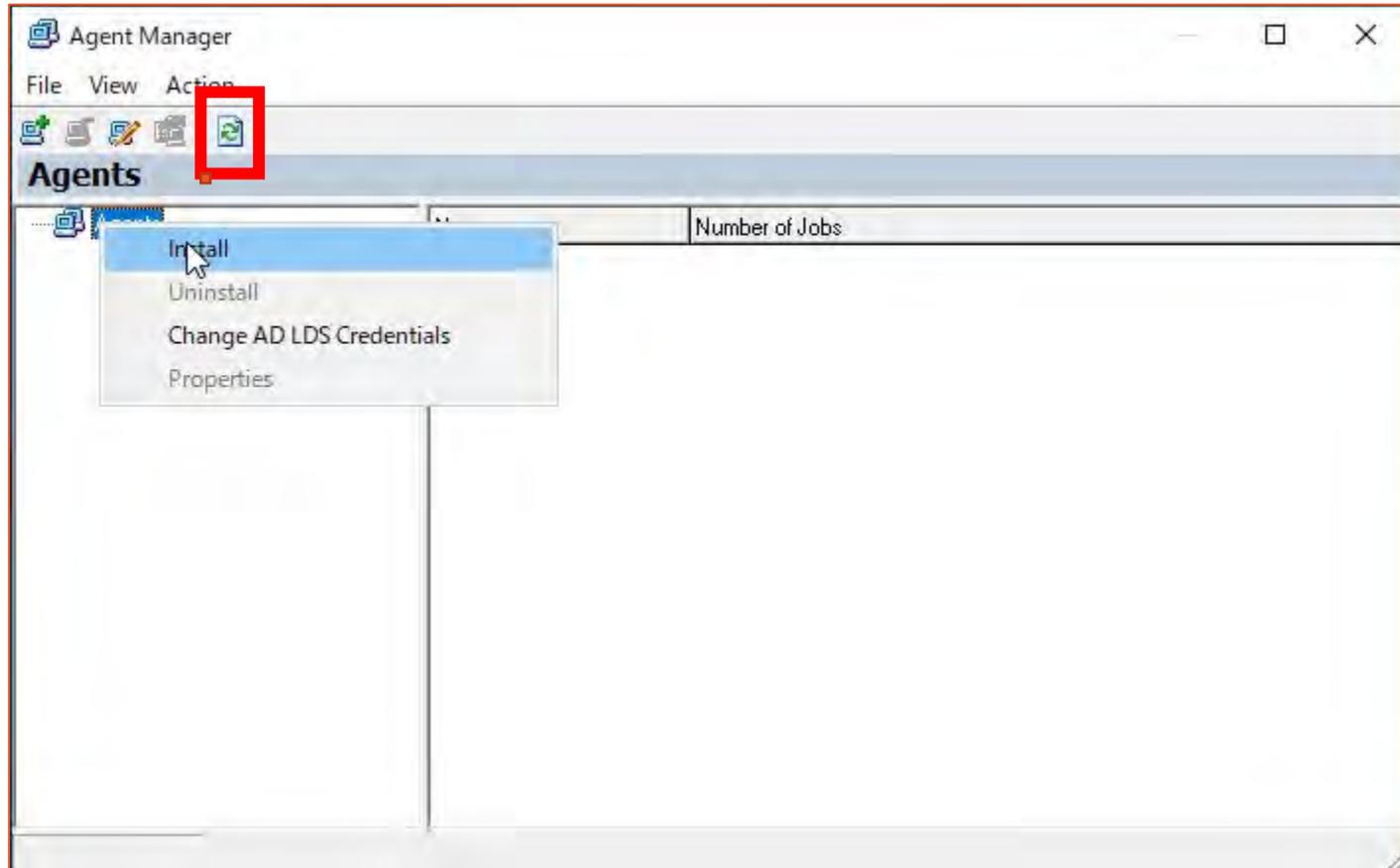
MMADの設定



MMADの設定

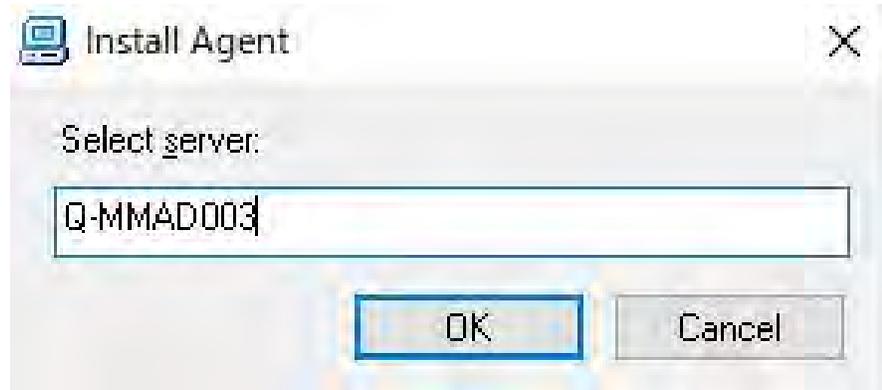


MMADの設定



Directory Synchronization Agentを
ローカルへインストールします。

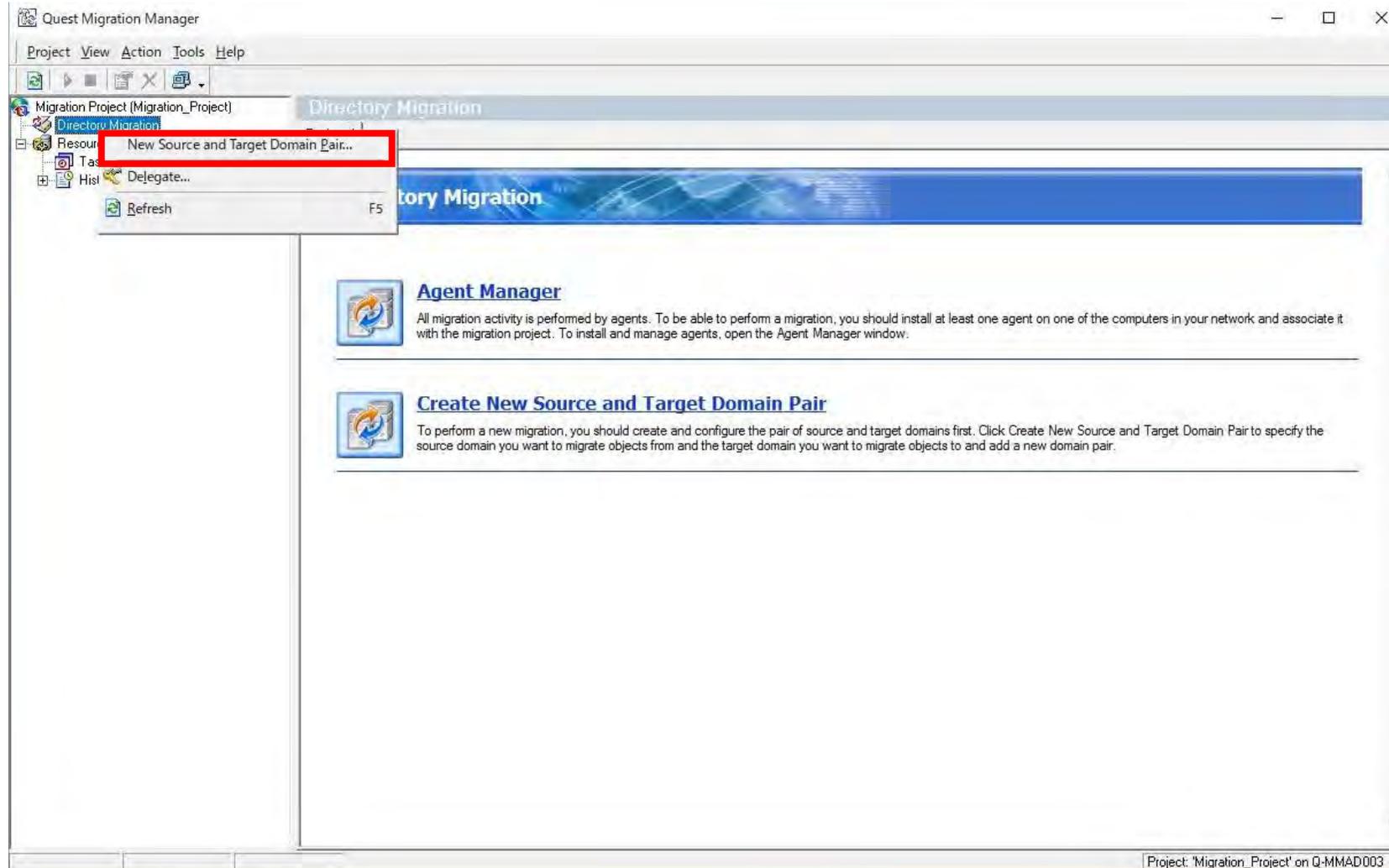
MMADの設定



MMADの設定

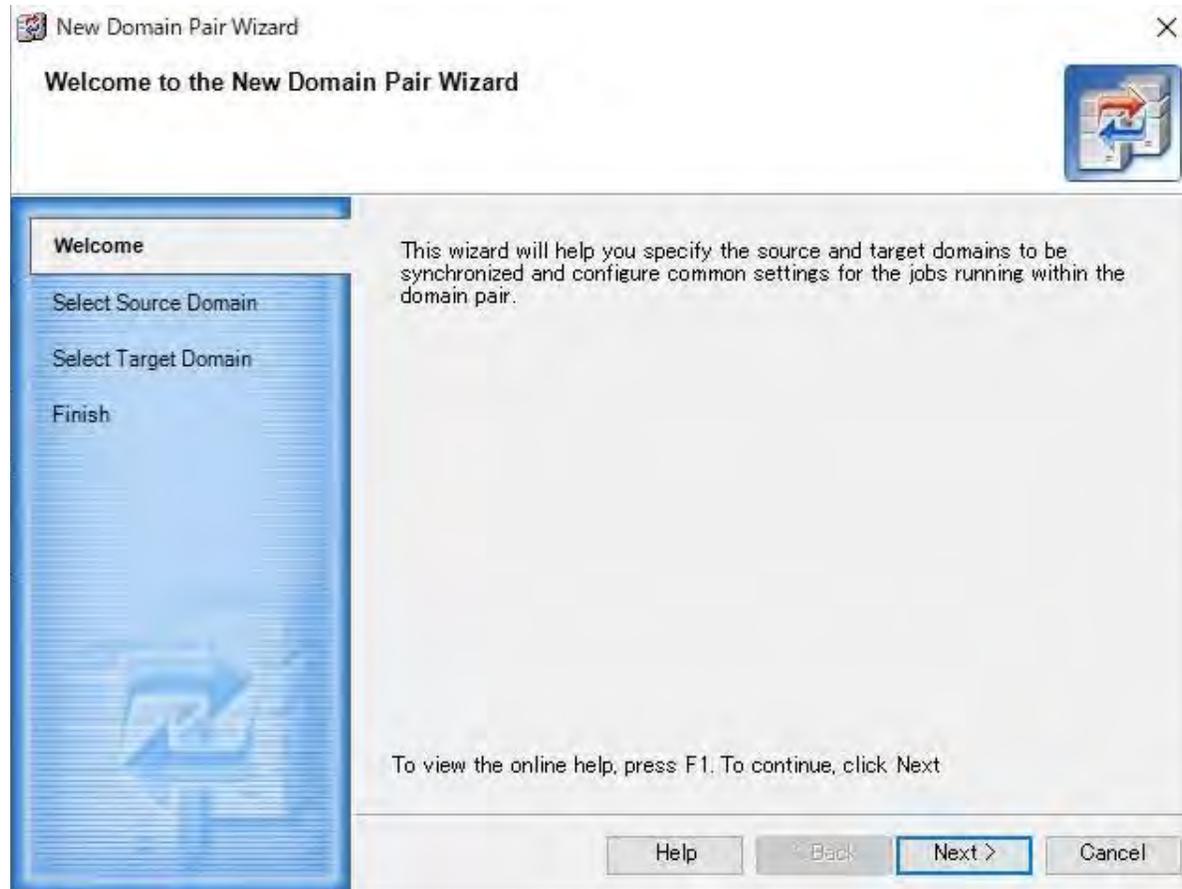


MMADの設定



Directory Migrationを
右クリックし、New
Source and Target
Domain Pairを選択しま
す。

MMADの設定



MMADの設定

New Domain Pair Wizard

Select Source Domain
Specify the source domain and the credentials to be used by the synchronization agent to connect to the domain.



Welcome
Select Source Domain
Select Target Domain
Finish

Domain or domain controller name:
 Browse...

Account: Browse...

Password:

Help < Back **Next >** Cancel

MMADの設定

New Domain Pair Wizard

Select Target Domain
Specify the target domain and the credentials to be used by the synchronization agent to connect to the domain.

Welcome
Select Source Domain
Select Target Domain
Finish

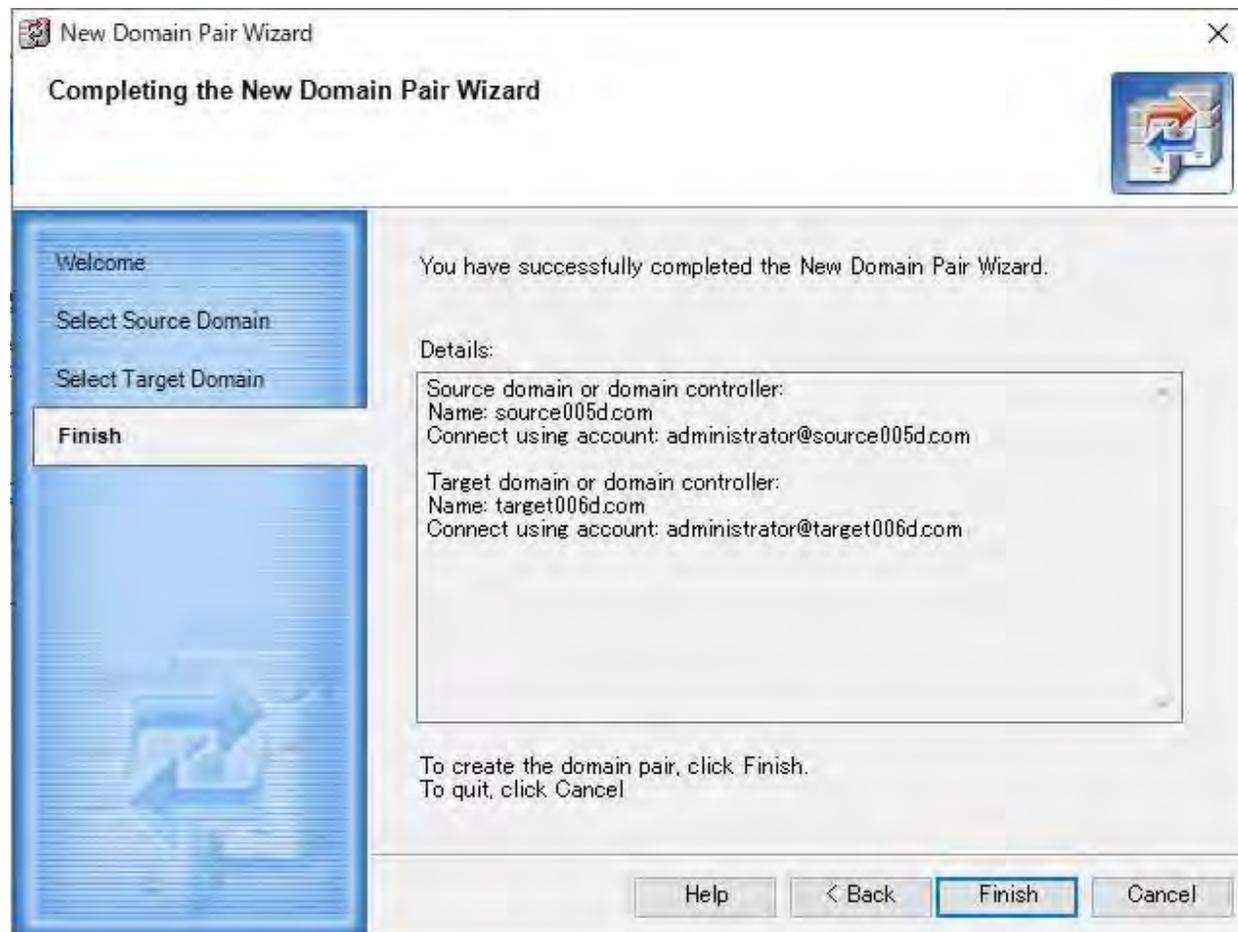
Domain or domain controller name: target006d.com Browse...

Account: administrator@target006d.com Browse...

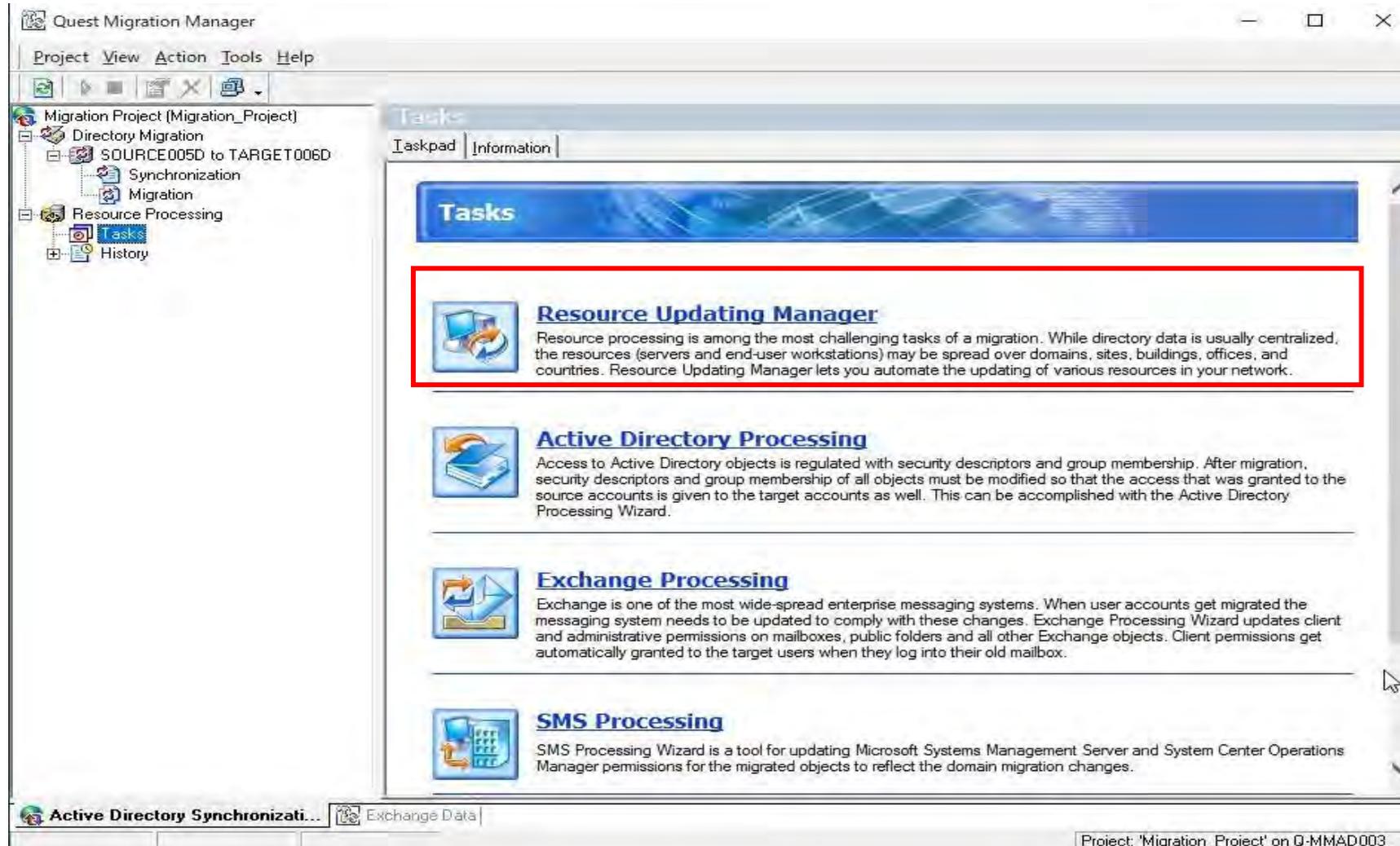
Password: *****

Help < Back Next > Cancel

MMADの設定

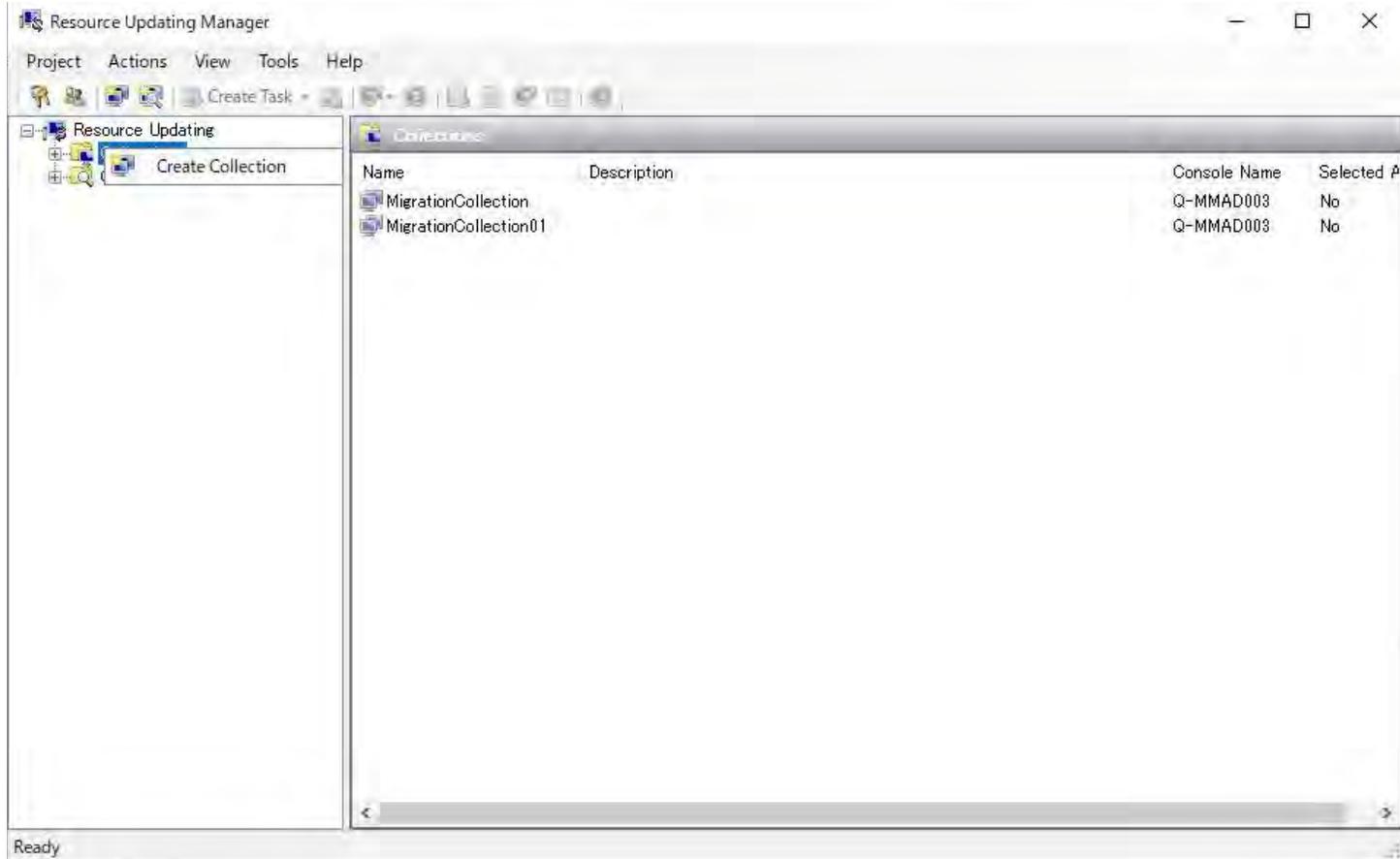


MMADの設定



Resource Update Managerに接続し、移行元ドメインと移行先ドメインに接続するアカウントを設定します。

MMADの設定



Collectionsを右クリックし、
Create Collectionを
選択します。

MMADの設定

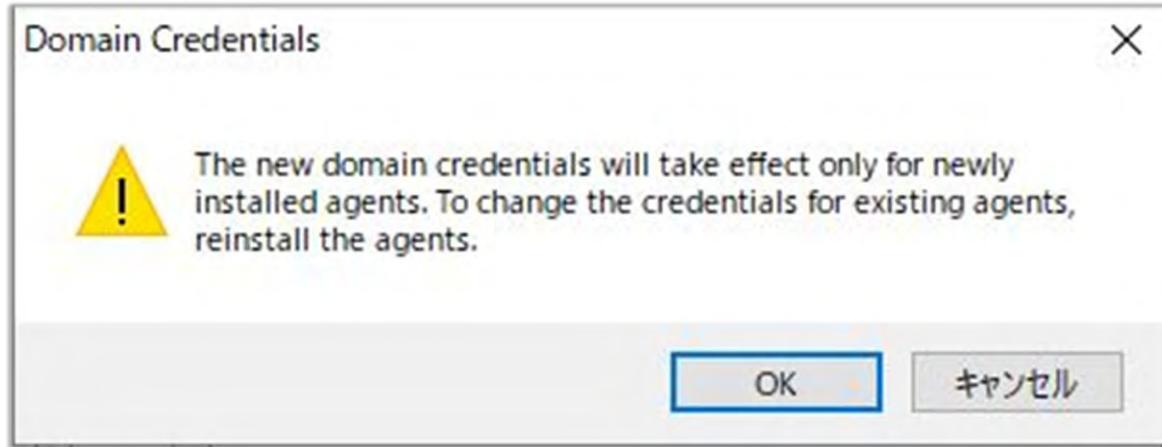
Create Collection

Name and Description
Specify a name for the collection and a descriptive comment for later reference 

Name:

Description:

MMADの設定



MMADの設定

Domain Credentials

Specify the name of the domain where to process computers and the credentials of the account that resource updating agents will use in this domain.

Domain: Source005d.com

Credentials

User name: administrator@source005d.com

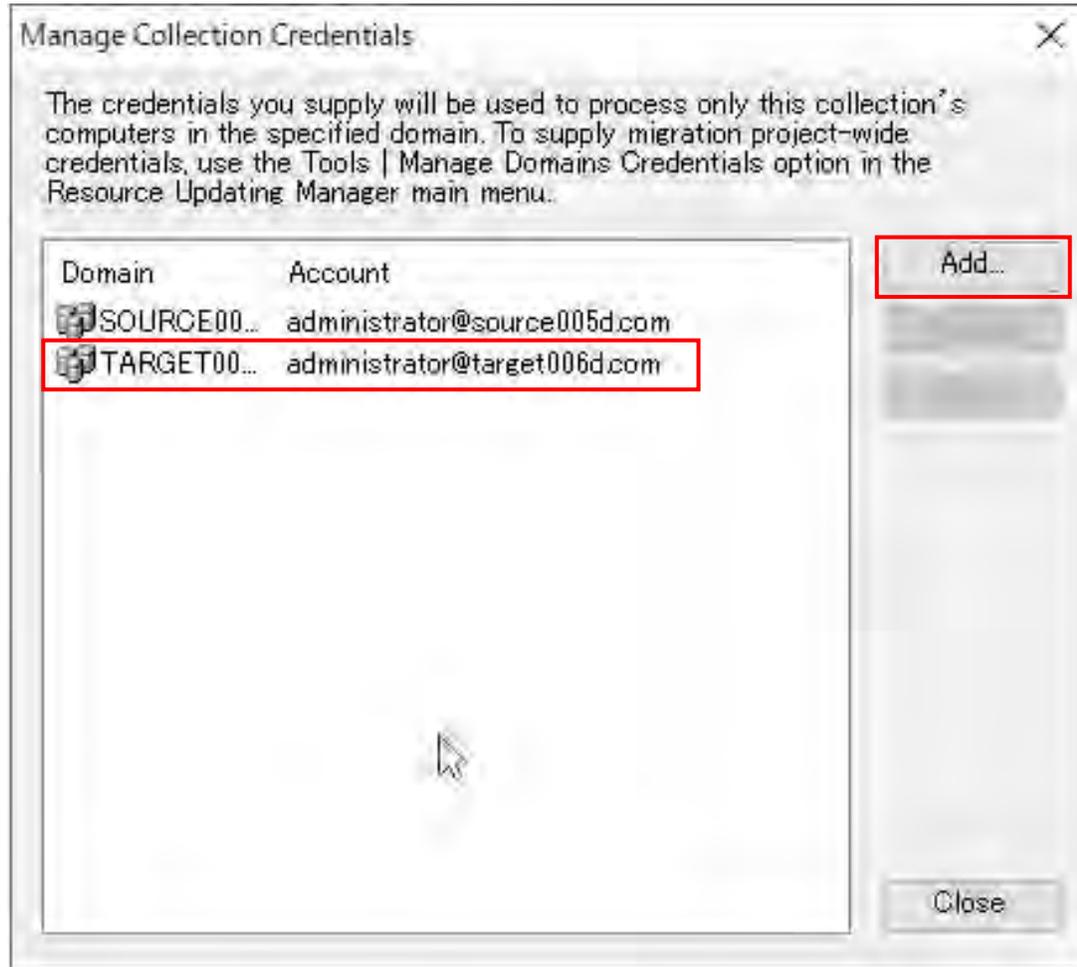
Examples: domain#user
user@domain.local

Password: ●●●●●●●●●●●●

OK Cancel

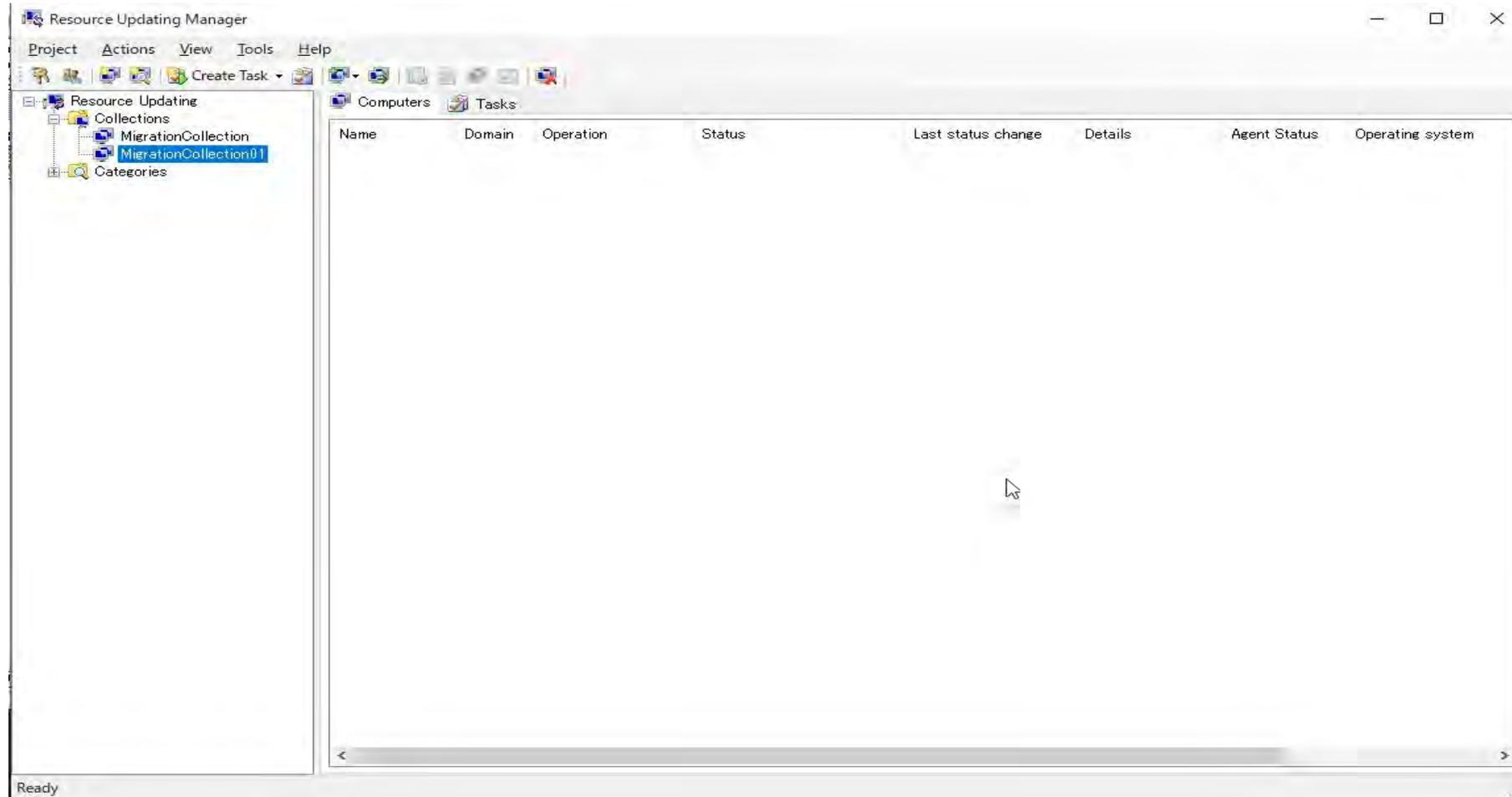
移行元ドメイン、ユーザ、パスワードを入力します。

MMADの設定



今度は、Addを選択し、
移行先ドメイン、ユーザ、パス
ワードを入力します。

MMADの設定



Thank you

Quest[®]